

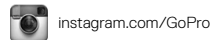
HERO



BLACK

## GoPro ムーブメントに参加しよう

---



## 目次

---

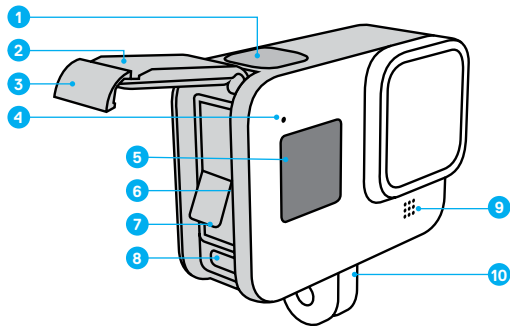
|                 |    |
|-----------------|----|
| HERO8 Black の外観 | 6  |
| カメラのセットアップ      | 8  |
| GoPro カメラの紹介    | 78 |
| GoPro のカスタマイズ   | 26 |
| QuikCapture の使用 | 35 |
| HiLight タグの追加   | 37 |
| 画面の向きの設定        | 38 |
| ビデオの録画          | 40 |
| ビデオの設定          | 46 |
| 写真撮影            | 49 |
| 写真の設定           | 56 |
| タイム ラプスの撮影      | 58 |
| タイム ラプスの設定      | 62 |
| ライブ ストリーミング     | 65 |
| 露出コントロール        | 66 |
| 外付けマイクへの接続      | 69 |
| 音声で GoPro を操作   | 70 |
| メディアの再生         | 74 |
| その他のデバイスへの接続    | 78 |


## 目次

---

|               |     |
|---------------|-----|
| メディアの転送       | 80  |
| ユーザー設定        | 85  |
| 重要なメッセージ      | 94  |
| カメラのリセット      | 96  |
| GoPro のマウント方法 | 98  |
| ドアの取り外し       | 103 |
| メンテナンス        | 105 |
| バッテリーの情報      | 106 |
| トラブルシューティング   | 110 |
| 仕様: ビデオ       | 111 |
| 仕様: 写真        | 122 |
| 仕様: タイム ラプス   | 127 |
| 仕様: Protune   | 132 |
| カスタマー サポート    | 140 |
| 登録商標          | 140 |
| 規制情報          | 140 |

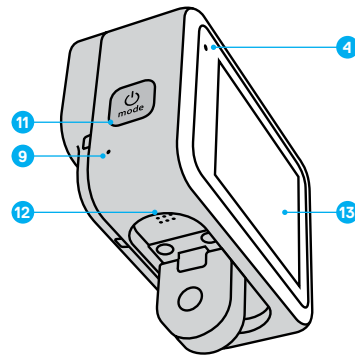
## HERO8 Black の外観




1. シャッター ボタン 
2. ドア
3. ドア ラッチ
4. ステータス ライト
5. ステータス スクリーン

6. microSD カード スロット
7. バッテリー
8. USB-C ポート
9. マイク
10. マウント フィンガー

## HERO8 Black の外観



11. モード ボタン 
12. スピーカー
13. タッチ スクリーン

GoPro に付属しているアクセサリの使用方法は、「[GoPro のマウント方法 \(98 ページ以降\)](#)」をご参照ください。

## カメラのセットアップ

---

### MICROSD カード

ビデオと写真を保存するために、microSD カード (別売) が必要です。次の要件を満たす有名ブランド製のカードを使用してください。

- ・ microSD、microSDHC、または microSDXC
- ・ Class 10 または UHS-I レート
- ・ 最大容量 256 GB

推奨される microSD カードのリストについては、[gopro.com/microsdcards](https://gopro.com/microsdcards) をご覧ください。

注意: SD カードを取り扱う前に、手が清潔で乾いていることを確認してください。カードの許容温度範囲やその他の重要事項は、カード製造元のガイドラインを確認してください。

**プロからのヒント:** 定期的に SD カードを再フォーマットして、適切な状態に保ってください。再フォーマットするとメディアがすべて消去されます。再フォーマット前に必ず保存してください。

1. 下にスワイプしてダッシュボードにアクセスします。
2. 「ユーザー設定」 > 「リセット」 > 「SD カードをフォーマット」をタップします。

ビデオと写真を保存する方法については、「[メディアの転送](#) (80 ページ)」をご参照ください。

## カメラのセットアップ

---

### 充電式バッテリー

最大限のパフォーマンスを発揮するには、必ず GoPro 充電式バッテリー (HERO8 Black/HERO7 Black/HERO6 Black) を新しい GoPro で使用してください。

古い GoPro バッテリーや GoPro 以外のバッテリーは、ご使用の HERO8 Black に適合する場合がありますが、カメラのパフォーマンスが大幅に制限されます。

**プロからのヒント:** バッテリーの状態をチェックして、適切なバッテリーを使用していることを簡単に確認できる方法があります。

1. 下にスワイプしてダッシュボードにアクセスします。
2. 「ユーザー設定」 > 「バージョン情報」 > 「バッテリー情報」をタップします。

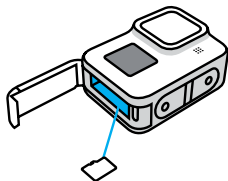
## カメラのセットアップ

### MICROSD カード + バッテリーのセットアップ

1. ドア ラッチのロックを解除し、ドアを開きます。



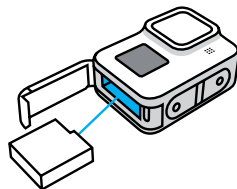
2. カメラをオフにして、SD カードのラベルをバッテリー コンパートメント 側に向けた状態でカードスロットに挿入します。



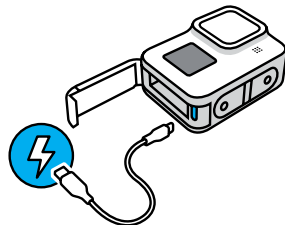
SD カードを取り出すには、カードを指の爪でスロット内に押し込みます。

## カメラのセットアップ

3. バッテリーを装着します。



4. 付属の USB-C ケーブルでカメラを USB 充電器またはコンピューターに接続します。



バッテリーがフル充電されるまでには約 2 時間かかります。充電が完了すると、カメラ ステータス ライトがオフになります。詳細については、「[バッテリーの情報](#) (106 ページ)」をご参照ください。

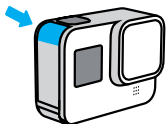
**プロからのヒント:** 高速充電には、GoPro Supercharger (スーパーチャージャー) (別売) を使用してください。

## カメラのセットアップ

5. 充電が完了したら、ケーブルのプラグを抜き、ドアを閉じます。カメラを使用する前に、ドア ラッチが閉じられ、ロックされていることを確認してください。



6. ドア ヒンジを押して、確実に密閉されるようにします。



警告: この GoPro のドアは着脱式です。確実に防水するために、ドアを閉めたらドア ラッチをチェックしてヒンジを押し、ロック、密閉されていることを確認してください。

## カメラのセットアップ

### カメラのソフトウェアの更新

GoPro で最新機能を使用しながら最高の性能を楽しむには、カメラのソフトウェアが最新であることを確認してください。

### GoPro アプリを使用した更新

1. Apple App Store または Google Play からアプリをダウンロードします。
2. 画面上の指示に従い、カメラをモバイル デバイスに接続します。新しいカメラ ソフトウェアが利用可能な場合は、アプリにインストール方法が表示されます。

### 手動による更新


1. [gopro.com/update](https://gopro.com/update) をご覧ください。
2. カメラのリストから「HERO8 Black」を選択します。
3. 「手動でカメラを更新」を選択し、指示に従います。

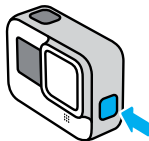
**プロからのヒント:** 使用しているソフトウェアのバージョンを知りたい場合は、以下の手順で確認できます。

1. 下にスワイプしてダッシュボードにアクセスします。
2. 「ユーザー設定」 > 「バージョン情報」 > 「カメラ情報」をタップします。


## GoPro カメラの紹介

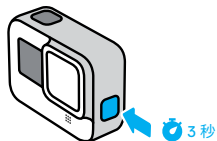
### 電源オン

HERO8 Black の電源をオンにするには、モード ボタン  を押します。



### 電源オフ

電源をオフにするには、モード ボタン  を長押しします。

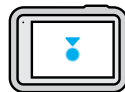


警告: GoPro 本体およびマウントやアクセサリは、充分にご注意の上ご利用ください。使用者および周囲の人々に危険が生じないように、使用時には常に周囲に気を配ってください。

現地の各種プライバシー法など、特定地域での録画を制限しうるすべての法律に従ってください。

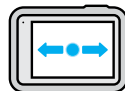
## GoPro カメラの紹介

### タッチ スクリーンの使用



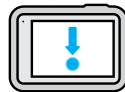
#### タップ

アイテムを選択する。または設定のオン、オフを切り替える。



#### 左右にスワイプ

ビデオ、写真、タイム ラプスの 3 モードを切り替える。



#### 画面の端から下にスワイプ

カメラが横向きになっている場合にダッシュボードを開く。



#### 画面の端から上にスワイプ

最後に撮影した写真またはビデオを表示し、メディアギャラリーにアクセスする。



## GoPro カメラの紹介

---



撮影画面を長押し  
露出コントロールをオンにして調整する。



「戻る」矢印を長押し  
メインの撮影、メディア ギャラリー、またはダッシュボード画面に戻る。

## GoPro カメラの紹介

---

### 撮影モード

GoPro には3つのメイン撮影モードがあります。



左または右にスワイプして必要なモードに変更します。

### ビデオ

ビデオには、標準、アクティビティ、シネマティック、スローモーションのプリセットが含まれます。詳細については、「[ビデオの録画](#) (40 ページ)」をご参照ください。


### 写真

写真には、写真、LiveBurst (ライブバースト)、連写、夜間のプリセットが含まれています。詳細については、「[写真撮影](#) (49 ページ)」をご参照ください。

### タイム ラプス


タイム ラプスには、TimeWarp (タイムワープ) ビデオ、タイム ラプス、ナイト ラプスのプリセットが含まれています。詳細については、「[タイム ラプスの撮影](#) (58 ページ)」をご参照ください。

---


**プロからのヒント:** カメラの電源がオンになっているときは、モード ボタン  を押してモードを切り替えることができます。

## GoPro カメラの紹介

### ショットの撮影

1. 録画を開始するには、シャッター ボタン  を押すだけです。



2. シャッター ボタン  をもう一度押して、録画を停止します (ビデオ、タイム ラプス、およびライブ ストリーミングのみ)。

## GoPro カメラの紹介

### 撮影画面

この画面では、カメラの撮影設定にアクセスできます。



1. 現在のモード (ビデオ、写真、タイム ラプス)
2. 残りの録画時間/写真の枚数
3. カスタマイズ可能な画面上的のショートカット
4. 撮影設定
5. バッテリー ステータス

注意: この撮影設定は、GoPro で縦方向に撮影する場合には使用できません。カメラを回転させる前に、必要な設定を選択してください。

## GoPro カメラの紹介

### プリセットの変更

各撮影モードにはプリセットが用意されており、ショットに最適なモードと設定を簡単に切り替えることができます。必要なショットを可能な限りシンプルに撮影できます。

1. 撮影設定をタップします。




2. 使用するプリセットをタップします。プリセットの設定がすべてカメラにロックされ、準備が完了します。



## GoPro カメラの紹介

### プリセットのカスタマイズ

数回タップするだけで、プリセットの設定を変更できます。

1. 調整するプリセットの横にある  をタップします。



2. 変更したい設定をタップします。



## GoPro カメラの紹介

画面に表示される指示で、オプションの概要を確認できます。



設定の詳細については、「仕様 (111 ページ以降)」をご参照ください。

3. 下にスクロールすると、高度な設定が表示されます。



すべての高度な設定の詳細については、「Protune (132 ページ以降)」をご参照ください。

## GoPro カメラの紹介

4. ◀ をタップして変更を保存し、プリセット画面に戻ります。



注意: 事前に用意されているプリセットは削除できませんが、好きなようにそれらをカスタマイズできます。また、独自のカスタム プリセットを作成することもできます。


詳細については、「独自のプリセットの作成 (26 ページ)」をご参照ください。

**プロからのヒント:** 撮影画面で撮影設定を長押しすると、直接設定メニューにスキップできます。


## GoPro カメラの紹介

プリセットを元の設定に戻す

プリセットは、元の設定にいつでも戻すことができます。

1.  をタップします。



2.  をタップします。





3. 「完了」をタップします。

注意: 設定のリストの最後までスクロールし、「元に戻す」をタップすることもできます。

## GoPro カメラの紹介

ボタンでナビゲートする

GoPro は防水ですが、水中ではタッチ スクリーンが機能しません。ボタンとフロント画面を使用して、モードと設定を変更します。

1. カメラの電源を入れた状態でモード ボタン  を長押しし、シャッター ボタン  を押します。フロント画面にメニューが表示されます。
2. モード ボタンを押して、モードと設定をスクロールします。
3. シャッター ボタンを使用して、設定の選択と調整をします。終了するには、シャッター ボタンを長押しするか、「完了」までスクロールしてからシャッター ボタンを押します。

注意: ボタンを使用してナビゲートする場合は、タッチボードとメディアギャラリーは使用できません。

## GoPro のカスタマイズ

HERO8 Black は、今までで最も自由にカスタマイズできる GoPro です。独自のプリセットを作成したり、画面をカスタマイズしたりして、最もよく使う設定にすぐにアクセスできます。

### 独自のプリセットの作成

ゲレンデでの 1 日を撮影するのに最適な設定は、屋内での撮影にはあまり適していない場合があります。カスタム プリセットを使用すると、両方の設定を保存しておくことができるため、すぐに切り替えることができます。

1. 撮影設定をタップして、プリセット リストの一番下までスクロールし、**+** をタップします。



2. 設定をタップして変更します。



## GoPro のカスタマイズ

画面に表示される指示で、オプションの概要を確認できます。すべての設定の詳細については、「仕様 (111 ページ以降)」をご参照ください。

下にスクロールすると、高度な設定が表示されます。



高度な設定の詳細については、「Protune (132 ページ以降)」をご参照ください。

3. 終了したら、**✓** をタップします。



## GoPro のカスタマイズ

4. プリセットのアイコンと名前を選択します。



5. ✓ をタップして、プリセットを保存します。

試した後にプリセットの微調整が必要になる場合があります。プリセットの横にある ✎ をタップして調整します。

## GoPro のカスタマイズ

プリセットを削除する

1. ≡ をタップします。



2. ✕ をタップします。



3. 「完了」をタップします。

注意: 設定のリストの最後までスクロールし、「消去」をタップすることもできます。

## GoPro のカスタマイズ

### 推奨設定

以下は、お気に入りのアクティビティの撮影に最適なモードと設定です。プリセットの出発点としてそれらを試してから、自分に最適なものを見つけましょう。

| アクティビティ | ビデオ   | 写真   |
|---------|---|--|
| 空中      | <ul style="list-style-type: none"><li>1080p120、広角レンズ</li><li>4K60、広角レンズ</li><li>15x TimeWarp ビデオ</li></ul>      | <ul style="list-style-type: none"><li>タイム ラプス フォト (1 秒間隔)、1080p120、広角レンズ</li><li>連写 (30/3 レート)、広角レンズ</li></ul> |
| 自転車     | <ul style="list-style-type: none"><li>1440p60、広角レンズ</li><li>2.7K60 4:3、広角レンズ</li><li>15x TimeWarp ビデオ</li></ul> | <ul style="list-style-type: none"><li>タイム ラプス フォト (5 秒間隔)、広角レンズ</li></ul>                                      |
| 屋内      | <ul style="list-style-type: none"><li>1440p30、広角レンズ</li><li>1080p30、広角レンズ</li></ul>                             | <ul style="list-style-type: none"><li>写真、または連続写真、広角レンズ</li></ul>   |
| 車両      | <ul style="list-style-type: none"><li>1440p60、広角レンズ</li><li>2.7K60 4:3、広角レンズ</li><li>15x TimeWarp ビデオ</li></ul> | <ul style="list-style-type: none"><li>タイム ラプス フォト (5 秒間隔)、広角レンズ</li></ul>                                      |
| マウント    | <ul style="list-style-type: none"><li>1440p60、広角レンズ</li><li>4K60、広角レンズ</li><li>自動 TimeWarp ビデオ</li></ul>        | <ul style="list-style-type: none"><li>タイム ラプス フォト (5 秒間隔)、広角レンズ</li></ul>                                      |
| 屋外      | <ul style="list-style-type: none"><li>1440p60、広角レンズ</li><li>4K60、広角レンズ</li><li>10x TimeWarp ビデオ</li></ul>       | <ul style="list-style-type: none"><li>写真、または連続写真、広角レンズ</li></ul>   |

## GoPro のカスタマイズ

| アクティビティ | ビデオ   | 写真  |
|---------|---|---|
| POV*    | <ul style="list-style-type: none"><li>1440p60、広角レンズ</li><li>1440p120、広角レンズ</li><li>15x TimeWarp ビデオ</li></ul> | <ul style="list-style-type: none"><li>タイム ラプス フォト (2 秒間隔)、広角レンズ</li><li>連写 (30/3 レート)、広角レンズ</li></ul>       |
| 自撮り     | <ul style="list-style-type: none"><li>1440p60、狭角レンズ</li><li>4K60 4:3、狭角レンズ</li></ul>                          | <ul style="list-style-type: none"><li>写真、狭角レンズ、スーパーフォト、写真タイマー</li></ul>                                     |
| 雪       | <ul style="list-style-type: none"><li>1080p120、広角レンズ</li><li>4K60、広角レンズ</li><li>15x TimeWarp ビデオ</li></ul>    | <ul style="list-style-type: none"><li>タイム ラプス フォト (1 秒間隔)、広角レンズ</li><li>連写 (30/3 レート)、広角レンズ</li></ul>       |
| トレイル    | <ul style="list-style-type: none"><li>1440p60、広角レンズ</li><li>4K30 4:3、広角レンズ</li><li>15x TimeWarp ビデオ</li></ul> | <ul style="list-style-type: none"><li>写真、広角レンズ</li></ul>  |
| 旅行      | <ul style="list-style-type: none"><li>1440p60、広角レンズ</li><li>4K60、広角レンズ</li><li>10x TimeWarp ビデオ</li></ul>     | <ul style="list-style-type: none"><li>写真、または連続写真、広角レンズ</li></ul>  |
| 水       | <ul style="list-style-type: none"><li>1080p240、広角レンズ</li><li>1440p60、広角レンズ</li><li>4K60、広角レンズ</li></ul>       | <ul style="list-style-type: none"><li>タイム ラプス フォト (2 または 5 秒間隔)、広角レンズ</li><li>連写 (30/6 レート)、広角レンズ</li></ul> |


\*視点 (POV) ショットは、ボディ マウントまたはハンドヘルド マウントを使用して自分の視点から撮影されたショットです。



## GoPro のカスタマイズ

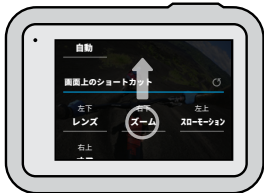
### 画面上のショートカットのカスタマイズ

画面上のショートカットを使用すると、カメラの撮影設定に1回のタップですばやくアクセスできます。各モードには独自の初期設定のショートカットがありますが、最もよく使用する設定に変更できます。プリセットごとに異なるショートカットを設定することもできます。

1. 調整するプリセットの横にある  をタップします。



2. 画面上のショートカットまで下にスクロールします。



## GoPro のカスタマイズ

3. 新しいショートカットを追加する場所をタップします。



4. 右側にある使用可能なすべてのショートカットをスクロールして、目的のショートカットを選択します。



ショートカットの詳細については、「仕様 (111 ページ以降)」および「Protune (132 ページ以降)」をご参照ください。

## GoPro のカスタマイズ

5. ◀ をタップして変更を保存し、プリセット画面に戻ります。



これでショートカットをタップするだけで、設定を変更できるようになります。

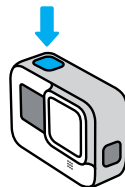
**プロからのヒント:** 撮影画面でショートカットを長押しすると、ショートカット選択画面にスキップできます。


## QuikCapture の使用

QuikCapture (クイックキャプチャ) を使えば、素早く簡単に GoPro の電源を入れ、撮影をすることができます。1個のボタンを押すだけで済みます。

QUIKCAPTURE でビデオを録画する

1. カメラの電源がオフの状態、シャッター ボタン  を押します。




2. 録画を停止し、カメラの電源をオフにするには、シャッター ボタン  をもう一度押します。

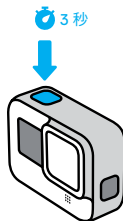
注意: QuikCapture を使用すると、最後に使用した設定で録画が開始されます。


その他のビデオ オプションについては、「[ビデオの録画](#) (40 ページ)」を参照してください。

## QuikCapture の使用

QUIKCAPTURE でタイム ラプスを撮影する

1. カメラがオフの状態、シャッター ボタン  を約 3 秒長押ししてカメラをオンにします。最後に使用したタイム ラプス モードで録画が開始されます。




2. タイム ラプスを停止し、カメラの電源をオフにするには、シャッター ボタン  をもう一度押します。

タイム ラプスのオプションの詳細については、「[タイム ラプスの撮影](#) (58 ページ)」を参照してください。

QUIKCAPTURE のオフ



QuikCapture は初期設定でオンになっていますが、オフにできます。

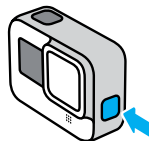
1. 下にスワイプしてダッシュボードにアクセスします。
2.  をタップします。

**プロからのヒント:** 録画のときだけカメラの電源がオンになる

QuikCapture を使用すれば、バッテリー残量を最大限に引き延ばすことができます。

## HiLight タグの追加

ビデオや写真のお気に入りの場面にマークを付けるには、撮影中や再生中にモード ボタン  を押します。これによって追加される HiLight タグ  により、映像を見たり、ビデオを作成したり、特定のショットを探す際の検索が簡単になります。




HiLight タグの追加は、GoPro アプリからも可能です。また音声コントロールがオンになっているときに「GoPro ハイライト」と話しかけることで追加することもできます。

**プロからのヒント:** GoPro アプリは、ビデオを作成するときに HiLight タグを自動検索します。このため、お気に入りの場面がストーリーに含まれるようになります。

## 画面の向きの設定

---


カメラを回転させることで、撮影の横向きと縦向きを簡単に切り替えることができます。HERO8 Black では、逆さまにマウントしても、正しい側を上にしてビデオと写真が撮影できます。タッチ スクリーンのメニューが自動的に調整され、正しい側を上にしてメディアが再生されます。

シャッター ボタン  を押すと、カメラの天地がロックされます。ローラーコースターに乗っているときのように、カメラを録画中に傾けると、映像も傾きます。すべてのひねりや回転が表現されます。

### 方向のロック

HERO8 Black では、横向きまたは縦向きに画面をロックできます。これは、ボディ マウントやハンドヘルド マウントを使用している場合に特に便利です。このような状況では、間違った向きでの撮影が発生する可能性が高くなるからです。

下にスワイプしてダッシュボードにアクセスします。

1. カメラを目的の方向に向けます。
2. ダッシュボードの  をタップします。

これで画面がロックされ、カメラの向きに一致します。

注意: この方法での画面のロックは、ユーザー設定で「方向」が「すべて」(初期設定) に設定されている場合にのみ機能します。

## 画面の向きの設定

---

### 横方向のロックの設定

GoPro を横方向でのみ撮影するように設定することもできます。


下にスワイプしてダッシュボードにアクセスします。

1. 「ユーザー設定」 > 「タッチ スクリーン」 > 「方向」をタップします。
2. 「自動」(初期設定) から「横方向」に切り替えます。

カメラの天地が正しい場合も、逆になっている場合も、GoPro は正しい天地で録画を実行します。また、ダッシュボードで方向をロックすることもできます。

## ビデオの録画

---

GoPro には 4 つのビデオ プリセットが用意されています。それぞれ独自の専門分野があります。プリセットを選択したら、シャッターボタン  を押して録画を開始します。もう一度押すと停止します。

### 標準 (初期設定)

汎用性の高いプリセットで、あらゆる用途の録画に適しています。1080p ビデオを 60 フレーム/秒 (fps) で撮影して、スマートフォンやテレビでフルスクリーン再生ができるようにします。デジタル レンズは、フレーム内により広い範囲を収められるよう広角に設定されています。

### アクティビティ

このプリセットを使用して、お気に入りのアクティビティで最高に臨場感あふれる瞬間を撮影しましょう。SuperView (スーパービュー) デジタル レンズで、2.7K ビデオを 60 fps で録画するため、クラシックな GoPro スタイルのビデオを、高解像度で全画面再生できます。

### シネマティック

驚きの 4K 高解像度ビデオを 30 fps で撮影します。このプリセットはリニア デジタル レンズを使用することで魚眼効果を滑らかにし、ドラマチックな映画のような印象を与えます。

### スローモーション

このプリセットは 1080p の映像を 240 fps で録画するため、速い動きを追うショットに最適です。これにより、再生中は標準速度の 8 倍まで減速するため、肉眼では見ることでできない見事なディテールをとらえることができます。

## ビデオの録画

---

### 画面上のショートカット

ビデオ プリセットには 4 つのショートカットが初期設定されていますが、これらは任意のショートカットと置き換えることができます。

詳細については、「[画面上のショートカットのカスタマイズ \(32 ページ\)](#)」をご参照ください。


注意: スローモーション プリセットには初期設定のショートカットがありません。

### スローモーション


スローモーション ショートカットをタップすると、フレーム レートが 120 fps に自動的にリセットされます。これにより、再生中に映像を標準速度の 4 倍まで減速できます。

注意: 4K30 または 2.7K30 (4:3) ビデオの録画を開始する前に「スローモーション」をタップすると、フレーム レートが最大 60 fps に上がります。これにより、再生中に映像を標準速度の 2 倍まで減速できます。

## ビデオの録画

1. 録画を開始する前に  をタップします。




2. シャッター ボタン  を押して録画を開始します。



## ビデオの録画

### デジタル レンズ

GoPro でのデジタル レンズの変更は、旧式のカメラでのレンズ交換と同様です。デジタル レンズはショットにとらえられるシーンの範囲、ズームレベル、魚眼効果に影響を与えます。

1.  をタップします。



2. オプションをスクロールして、各オプションのライブ プレビューを確認してから、希望のオプションをタップします。




注意: 一部のデジタル レンズは、一部のフレーム レートでのみ機能します。レンズを交換すると、必要に応じて HERO8 Black が自動的にフレーム レートを調整します。


## ビデオの録画

### HyperSmooth ブースト

起伏に富んだ場所で撮影するときは、HyperSmooth (ハイパースムーズ) ブーストでビデオ安定化機能を最大化しましょう。

1. 録画を開始する前に  をタップします。



2. シャッター ボタン  を押して録画を開始します。

詳細については、「[HyperSmooth 2.0 ビデオ安定化機能 \(120 ページ\)](#)」をご参照ください。


注意: HyperSmooth ブーストは、狭角デジタル レンズを選択すると自動的にオンになります。

**プロからのヒント:** HyperSmooth ブーストは、画像をしっかりとクロップすることで、最高レベルのビデオ安定化を実現します。HyperSmooth 2.0 をオフにすると、クロップなしの安定化されていないビデオが撮影されます。また、「オン」あるいは「高」の設定を使用すると、より広い視野角で安定したビデオを撮影できます。

## ビデオの録画

### タッチ ズーム

タッチ ズームを使用すると、アクションのクローズアップ撮影に役立ちます。

1.  をタップします。



2. スライダーを使用して、ズームのレベルを選択します。



3. ズーム レベルは、再調整するか、撮影モードを切り替えるか、カメラの電源をオフにするまでロックされています。

## ビデオの設定

ビデオ設定の詳細をご紹介します。✎ をタップしてから、変更する設定をタップします。





モード (カスタム プリセット作成時に使用可能)

ビデオ (従来のビデオ)、ループ、スローモーションのいずれかのモードを選択します。

### ループ

ループを使用すると、気に入った瞬間が撮影できるまで連続的にループ録画をすることで、SD カードのスペースを節約できます。何かが起こるのを待っているときに使用したり (釣りなど)、何も起こらないかもしれないときに使用します (車載カメラなど)。

### 仕組み:

- ループの間隔を 5 分に設定すると、シャッター ボタン  を押して録画を停止した直前の 5 分間のみが保存されます。
- 5 分間録画してシャッター ボタン  を押さなかった場合は、カメラはループバックして、ビデオの開始地点から重ね録りします。

## ビデオの設定

### スローモーション

これらの高フレーム レート設定を用いると、標準速度の 8 倍または 4 倍に減速させた映像再生が行えます。8 倍の超スローモーション ビデオにする場合は、解像度を 1080p、フレーム レートを 240 fps に設定します。4 倍のスローモーションにする場合は、解像度は 2.7K、1440p、1080p のいずれかを選択し、フレーム レートを 120 fps に設定します。

### RES | FPS

解像度 (RES) は、アスペクト比によってグループ化されています。幅の狭い 4:3 の解像度 (自撮りや POV ショットに最適) は、最上列に配置されています。ワイドスクリーンの 16:9 の解像度 (映画のようなショットに最適) は、最下段に配置されています。

フレーム/秒 (fps) は、画面の下部に配置されています。選択した解像度で利用可能なフレーム レートは、すべて白で表示されます。使用できないフレーム レートはグレーで表示されます。速い動きやスローモーション ショットの撮影には、より高いフレームレートを使用します。

初期設定の解像度と fps は、選択したプリセットによって異なります。

詳細については、以下をご参照ください。

- [ビデオの解像度 \(RES\)](#) (111 ページ)
- [フレーム/秒 \(FPS\)](#) (114 ページ)
- [アスペクト比](#) (115 ページ)

### レンズ

撮影に最適なデジタル レンズを、SuperView (スーパービュー)、広角、リニア、狭角から選択します。初期設定のレンズは、選択したプリセットによって異なります。

注意: 利用できるレンズは、選択した解像度とフレーム レートによって異なります。

詳細については、「[デジタル レンズ \(ビデオ\)](#) (116 ページ)」をご参照ください。



## ビデオの設定

### 間隔 (ループ)

ループバックしてビデオの先頭から重ね撮りするまでに、GoPro が録画する時間を選択します。初期設定の間隔は 5 分です。

詳細については、「[ループの間隔](#) (121 ページ)」をご参照ください。

### HYPERSMOOTH

サイクリング、スキーなどでの手持ち撮影に最適です。HyperSmooth 2.0 (ハイパースムーズ 2.0) ビデオ安定化機能が、ジンバルを使用しているかのような驚くほど滑らかな映像を実現します。使用可能な設定は、「ブースト」、「高」、「オン」、「オフ」です。

詳細については、「[HyperSmooth 2.0 ビデオ安定化機能](#) (120 ページ)」をご参照ください。

### 低光

ビデオを 50 または 60 フレーム/秒で撮影しようとする GoPro は自動光量調整を使用して、暗い環境用の設定に自動的に調整します。初期設定ではオンに設定されていますが、オフにすることも可能です。

詳細については、「[自動光量調整](#) (121 ページ)」をご参照ください。

### ズーム

タッチ ズームを使用すると、アクションのクローズアップ撮影に役立ちます。右側のスライダーを使用して、ズーム レベルをロックします。


### クリップ

15 または 30 秒の短いビデオ クリップの撮影、スマートフォンへの保存、ソーシャル メディアでの共有が、素早く簡単にできます。初期設定でクリップはオフになっています。



PROTUNE では、ビット レート、カラー、ISO 上限、露出、マイク設定などの詳細設定を手動で制御できます。

詳細については、「[Protune](#) (132 ページ)」をご参照ください。


## 写真撮影

GoPro には 4 つの写真プリセットが用意されています。撮影する写真のタイプを選択してシャッター ボタン  を押すだけで、ショットを撮影できます。初期設定のデジタル レンズは広角に設定されており、すべての写真は 12 MP で撮影されます。

### 写真 (初期設定)

このプリセットを使用すると、1 枚ずつ写真を撮影するか、連続撮影を行うことができます。シャッター ボタン  を 1 度押すと、1 枚写真を撮影します。シャッター ボタン  を長押しして、1 秒あたり最大 30 枚の連続した写真を撮影します (照明条件によって異なります)。

### LIVEBURST

LiveBurst (ライブバースト) を使用すると、シャッター ボタン  を押す 1.5 秒前および 1.5 秒後までが連写されます。連写された中から完璧なショットを探し出したり、連写全体をショート ビデオとして共有したりできます。

### 連写

連写では、高速レートで一連の写真を撮影します。速い動きの撮影に最適です。このプリセットでは照明条件に基づいて 1 秒間に最大 30 枚の写真を自動的に撮影します。

### 夜間

夜間プリセットでは、ショットにより多くの光量を取り込まれるようにカメラのシャッター速度が自動的に調整されます。薄暗いシーンや暗いシーンに最適ですが、カメラが動くハンドヘルドやマウント撮影にはお勧めしません。

## 写真撮影

### 画面上のショートカット


写真プリセットには4つのショートカットが初期設定されていますが、これらは任意のショートカットと置き換えることができます。

詳細については、「[画面上のショートカットのカスタマイズ](#) (32 ページ)」をご参照ください。

注意: 「出力」は写真プリセットでのみ初期設定されています。お好みで連写および夜間モードに設定することもできます。

### 写真タイマー

タイマーを使用して、自撮りや集合写真などを撮影します。


1.  をタップします。



## 写真撮影

2. 3 秒 (自撮り向け) または 10 秒 (集合写真向け) を選択します。



3. シャッター ボタン  を押します。カメラがカウントダウンを開始します。また、電子音が鳴り、前面のステータス ライトが点滅します。写真撮影の瞬間が近づくにつれて、電子音とライトの点滅の速度が上がります。



注意: 低光量での不鮮明なショットとならないよう、ナイト フォト モードに切り替えるとタイマーは自動的に3秒に設定されます。

## 写真撮影

### デジタル レンズ

デジタル レンズは、写真に撮影可能なシーンの範囲、ズーム レベル、および魚眼の効果に影響します。交互に切り替えて、ショットに最適なレンズを確認してください。

1. **W** をタップします。



2. オプションをスクロールして、各オプションのライブ プレビューを確認してから、希望のオプションをタップします。



注意: LiveBurst では広角レンズのみが使用されます。


## 写真撮影

### 出力

HERO8 Black では、写真の処理および保存方法を指定できます。写真モード (一度に写真を 1 枚ずつ撮影) ではほとんどのオプションを利用できません。

| 出力          | モード      | 説明  |
|-------------|----------|---|
| スーパー<br>フォト | 写真       | 高度な画像処理を自動的に使用して、どんな照明条件下でも最高の写真を実現します。各ショットの処理には時間がかかる場合があります。 |
| HDR         | 写真       | 複数の写真を 1 つのショットに結合し、明るい光と影が混在したシーンを鮮明な写真にします。                   |
| 標準          | 写真、連写、夜間 | 写真を標準の .jpg ファイルで保存します。   |
| RAW         | 写真、連写、夜間 | 各写真を .jpg および .gpr ファイルとして保存して、使い慣れた写真編集プログラムで加工することができます。      |

## 写真撮影

1.  をタップします。




2. 右側のオプションをスクロールして、使用したいオプションをタップします。



## 写真撮影

### タッチズーム

タッチズームを使用すると、アクションのクローズアップ撮影に役立ちます。

1.  をタップします。



2. スライダーを使用して、ズームのレベルを選択します。



3. ズームレベルは、再調整するか、撮影モードを切り替えるか、カメラの電源をオフにするまでロックされています。

**プロからのヒント:** 連写、写真タイマー、ズームは、必要に応じて任意に組み合わせることで自分好みの撮影条件が設定できます。

## 写真の設定

使用可能な写真設定の概要を説明します。🖋️ をタップして設定メニューにアクセスし、変更する設定をタップします。



### レンズ

撮影に最適なデジタル レンズを、広角、リニア、狭角から選択します。右側をスクロールして、それぞれのライブ プレビューを確認してから、設定したいレンズをタップします。

詳細については、「[デジタル レンズ \(写真\)](#) (125 ページ)」をご参照ください。

### 出力 (写真、連写、夜間)

画像の処理レベルとファイルの保存方法を設定します。選択肢は、スーパーフォト、HDR、標準、または RAW です。

詳細については、以下をご参照ください。

- ・ [スーパーフォト](#) (122 ページ)
- ・ [HDR](#) (123 ページ)
- ・ [RAW 形式](#) (126 ページ)

## 写真の設定

### タイマー

写真のタイマーを 3 秒または 10 秒に設定します。

### ズーム

タッチ ズームを使用すると、アクションのクローズアップ撮影に役立ちます。右側のスライダーを使用して、ズーム レベルをロックします。

### メガピクセル (LIVEBURST)

LiveBurst (ライブバースト) での撮影用に、8 MP または 12 MP の解像度を選択します。8 MP (初期設定) は、ほとんどのスマートフォンに対応しています。12 MP は、最新のハイエンド スマートフォンにのみ対応しています。

### 連写レート (連写)

1、3、6、または 10 秒で、カメラが連写する写真の枚数を設定します。

詳細については、「[連写レート](#) (124 ページ)」をご参照ください。

### シャッター (夜間)

夜間の撮影時に、カメラのシャッターを開いたままにする時間を設定します。暗い場所での撮影では長めの露出を選択してください。


詳細については、「[シャッター速度](#) (124 ページ)」をご参照ください。

### PROTUNE (写真、連写、夜間)

Protune では、ビット レート、カラー、ISO 上限、露出などの詳細設定を手動で制御できます。


詳細については、「[Protune](#) (132 ページ以降)」をご参照ください。

## タイム ラプスの撮影

タイム ラプスは、設定された間隔につきビデオを1フレーム取り出すことで、長時間のイベントをシェア可能な短いビデオにしてくれます。このGoProには3つのタイム ラプス プリセットが用意されています。シャッター ボタン  を押すだけで録画が開始され、もう一度押すと停止します。

### TIMEWARP 2.0 (初期設定)

HERO8 Black は、撮影者が動いている場合でも、TimeWarp 2.0 (タイムワープ 2.0) ビデオ安定化機能を使用して、最高に滑らかなタイム ラプス ビデオを素早く撮影できます。マウンテン バイクでの走行中やハイキングなどに最適です。このプリセットでは、撮影速度を最高の結果が得られるように自動調節しながら、広角デジタル レンズで 1080p ビデオを撮影します。

また  をタップしてリアルタイムに速度を落とし、面白いシーンをじっくり楽しんだ後、タップして速度を元に戻すこともできます。

### タイム ラプス

マウントされて静止しているカメラからタイム ラプス ビデオを撮影する場合は、このプリセットを使用します。夕焼け、街の風景、アート プロジェクトなどの、長時間撮影に最適です。広角デジタル レンズで 0.5 秒毎に1ショットを捉えることで、1080p ビデオを撮影します。

### ナイト ラプス

ナイトラプスは、光量の少ない暗い場所でタイム ラプス ビデオを撮影するために用意されたものです。より多くの光量を取り込むようにシャッター速度を自動調節し、最良の結果が得られる間隔を選択します。広角デジタル レンズを用いた 1080p ビデオが録画されます。ナイト ラプスの使用は、カメラが動くハンドヘルドやマウント撮影にはお勧めしません。

**プロからのヒント:** HERO8 Black でも、タイム ラプスおよびナイト ラプス フォトの撮影ができます。設定にある「形式」に移動し、「写真」を選択するだけです。

## タイム ラプスの撮影

### 画面上のショートカット


タイム ラプスのプリセットには2つのショートカットが初期設定されていますが、これらは任意のショートカットと置き換えることができます。

詳細については、「[画面上のショートカットのカスタマイズ](#) (32 ページ)」をご参照ください。

**プロからのヒント:** 初期設定されているショートカットは2つですが、最大4つまで設定できます。

### デジタル レンズ

フレームに収められるシーンの範囲、ズーム レベル、魚眼の効果に影響するデジタル レンズを切り替えます。

1.  をタップします。



## タイム ラプスの撮影

2. オプションをスクロールして、各オプションのライブ プレビューを確認してから、希望のオプションをタップします。




注意: 利用できるレンズは、選択したモードによって異なります。

## タイム ラプスの撮影

タッチ ズームの使用

タッチ ズームを使用すると、アクションのクローズアップ撮影に役立ちます。

1.  をタップします。



2. スライダーを使用して、ズームのレベルを選択します。



3. ズーム レベルは、再調整するか、撮影モードを切り替えるか、カメラの電源をオフにするまでロックされています。

## タイム ラプスの設定

ここではタイム ラプスの設定を調整できます。✎ をタップしてから、変更する設定をタップします。



### 解像度

解像度 (RES) は、アスペクト比によってグループ化されています。幅の狭い 4:3 の解像度 (自撮りや POV ショットに最適) は、最上列に配置されています。ワイドスクリーンの 16:9 の解像度 (映画のようなショットに最適) は、最下段に配置されています。

詳細については、以下をご参照ください。

- ・ [ビデオの解像度 \(タイム ラプス\)](#) (128 ページ)
- ・ [アスペクト比](#) (115 ページ)

### レンズ

撮影に最適なデジタル レンズを、広角、リニア、狭角から選択します。右側をスクロールして、それぞれのライブ プレビューを確認してから、設定したいレンズをタップします。

注意: 利用できるレンズは、選択したモードによって異なります。

詳細については、「[デジタル レンズ \(写真\)](#) (125 ページ)」をご参照ください。

## タイム ラプスの設定

### ズーム

タッチ ズームを使用すると、アクションのクローズアップ撮影に役立ちます。右側のスライダーを使用して、ズーム レベルをロックします。

### 速度 (TIMEWARP)

ビデオの速度を設定します。短時間のアクティビティ用の低速 (2 倍速または 5 倍速) か、長時間のアクティビティ用の高速 (10 倍速、15 倍速、または 30 倍速) を選択します。速度設定を「自動」のままにしておく (初期設定)、動き、シーン検出、照明に基づいて GoPro が自動的に速度を調整します。

詳細については、「[TimeWarp 2.0 ビデオの速度](#) (127 ページ)」をご参照ください。

### 形式 (タイム ラプス、ナイト ラプス)

タイム ラプスとナイト ラプスのビデオ撮影から、タイム ラプスとナイト ラプスの写真に切り替えます。この写真形式では、設定した間隔で連続した一連の写真を撮影します。これを使用すると、撮影はカメラに任せてアクティビティに集中できます。撮影後に、すべての写真の中からベスト ショットを探し出すことができます。

### 間隔 (タイム ラプス)

カメラがビデオの 1 フレームを取り出したり、写真を撮影する頻度を選択します。短時間のアクティビティでは短い間隔を使用し、長時間のアクティビティでは長い間隔を使用してください。

詳細については、「[タイム ラプスの間隔](#) (129 ページ)」をご参照ください。

### 間隔 (ナイト ラプス)

低光量や超低光量の場合に、カメラが写真を撮影する頻度を設定します。動きや光量が多い場合は、短い間隔を選択します。動きや光がほとんどない場合は、長い間隔を使用します。

詳細については、「[ナイト ラプスの間隔](#) (131 ページ)」をご参照ください。



## タイム ラプスの設定

---

出力 (タイム ラプス フォト、ナイト ラプス フォト)

写真を標準的な .jpg または RAW ファイルで保存します。

詳細については、「[RAW 形式 \(126 ページ\)](#)」をご参照ください。

シャッター (ナイト ラプス)

夜間の撮影時に、カメラのシャッターを開いたままにする時間を設定します。暗い場所での撮影では長めの露出を選択してください。

詳細については、「[シャッター速度 \(124 ページ\)](#)」をご参照ください。

PROTUNE (TIMEWARP、タイム ラプス ビデオ、ナイト ラプス ビデオ)



ビデオの詳細設定を手動で制御できます。

詳細については、「[Protune \(132 ページ以降\)](#)」をご参照ください。

## ライブ ストリーミング

---

ライブストリームの設定

1. GoPro アプリに接続します。詳細については、「[GoPro アプリへの接続 \(78 ページ\)](#)」をご参照ください。
2. アプリで  をタップして、カメラを制御します。
3.  をタップして、指示に従ってストリームを設定します。

詳しい手順については、[gopro.com/live-stream-setup](https://gopro.com/live-stream-setup) を参照してください。

## 露出コントロール

HERO8 Black はシーン全体をスキャンして、撮影の露光レベルを選択します。露出コントロールを使用して、撮影画面から選んだ領域に合わせた露光量を設定することができます。


タッチ スクリーンで映像のプレビューを確認します。暗すぎる部分や明るすぎる部分がある場合は、露出コントロールを試してください。

自動露出を使用して露出コントロールを設定する

このオプションを使用すると、あらかじめ選択した領域の露光を基準にして自動的に露出を調整します。

たとえば、カメラが車のダッシュボードにマウントされているとします。

このような場合には、ダッシュボードではなく外の風景に合わせて露出を設定したいはずです。事前の設定によって、露出オーバー（白とび）を防ぐことができます。

1. 中央にドットがある角括弧が画面の中央に表示されるまでタッチ スクリーンを押します。これは露光計です。撮影画面中央の露光に基づいて露出を設定します。
2. 撮影画面内の別の領域から露出を設定したい場合は、角括弧を中央からドラッグして移動させます (角括弧をドラッグする代わりに、設定に使用するエリアをタップしても OK です)。
3. 画面をチェックして、露出が適正に見えるかどうかを確認します。右下にある  をタップします。




## 露出コントロール

露出ロックを使用して露出コントロールを設定する

このオプションを使用すると、キャンセルするまでカメラの露出がロックされます。

晴れた日にスノーボードをしているときに、被写体のジャケットに露出をロックしたくなる場合があります。露出ロックを使用すると、非常に明るい雪に反応してショットが露出アンダー（黒つぶれ）になることを防止できます。

1. 中央にドットがある角括弧が画面の中央に表示されるまでタッチ スクリーンを押します。これは露光計です。撮影画面中央の露光に基づいて露出を設定します。
2. 撮影画面内の別の領域から露出を設定したい場合は、角括弧を中央からドラッグして移動させます (角括弧をドラッグする代わりに、設定に使用するエリアをタップしても OK です)。
3. 角括弧の内側をタップして、露出をロックします。
4. 画面をチェックして、露出が適正に見えるかどうかを確認します。右下にある  をタップしてロックします。




## 露出コントロール

---

### 露出コントロールをオフにする

撮影モードを切り替えるかカメラを再起動すると、露出コントロールは自動的にオフになります。手動でオフにすることもできます。

1. 中央に四角形が表示されるまでタッチスクリーンを押します。
2. 左下の  をタップします。

注意: 露出コントロールをキャンセルすると、カメラは再び、自動的にシーン全体を使用して露光レベルを設定するようになります

## 外付けマイクへの接続

---

GoPro Pro 3.5 mm マイク アダプターとメディア モジュラー (HERO8 Black) (どちらも別売) および外付けマイクを使用して、ビデオのオーディオ品質を向上させることができます。

1. GoPro Pro 3.5 mm マイク アダプター (別売) を使用して、カメラの USB-C ポートにマイクを接続します。
2. カメラのメイン画面を下にスワイプしてダッシュボードにアクセスします。
3. 「ユーザー設定」 > 「入出力」 > 「音声入力」をタップします。
4. 「オプション」をタップします。


| オプション        | 説明  |
|--------------|---|
| 標準マイク (初期設定) | 無動力マイクをサポートします。   |
| 標準マイク+       | 無動力マイクをサポートし、20 dB ブーストを提供します。                                |
| 動力マイク        | セルフ動力マイクをサポートします。   |
| 動力マイク+       | セルフ動力マイクをサポートし、20 dB ブーストを提供します。                              |
| ラインイン        | 他のオーディオ機器からのラインレベルの出力をサポートします (ミキシング ボード、ギター プリアンプ、カラオケ機器など)。 |

注意: 選択するオプションが不明な場合は、マイクに付属している情報を確認してください。

## 音声で GoPro を操作

音声コントロールを使用すると、GoPro をハンズフリーで簡単に操作できます。ハンドルバーやスキーのストックなどで手がふさがっているときに便利です。実行したい操作を GoPro に話しかけるだけです。

音声コントロールのオン/オフの切り替え

1. 下にスワイプしてダッシュボードにアクセスします。
2.  をタップして音声コントロールをオンまたはオフにします。

音声コントロールでの撮影

音声コントロールをオンにすると、GoPro に話しかけるだけで撮影が開始されます。

| コマンド         | 説明  |
|--------------|---|
| GoPro、撮影     | 設定されたモードで撮影を開始します。  |
| GoPro、撮影ストップ | ビデオ モードおよびタイム ラプス モードでの撮影を停止します。写真、LiveBurst (ライブバースト)、連写モードは自動的に停止します。 |

## 音声で GoPro を操作

音声コマンドのリスト

音声コマンドには、アクション コマンドとモード コマンドの 2 種類があります。

アクション コマンドの使用

モードを直ちに切り替えることができます。ビデオを録画した直後でも、「GoPro 写真」と言えば、手動によるモードの切り替えなしで写真を撮影することができます。

| アクション コマンド         | 説明                                    |
|--------------------|---------------------------------------|
| GoPro、ビデオ スタート     | ビデオの録画を開始します。                         |
| GoPro、ハイライト        | 録画中に HiLight タグを追加します。                |
| GoPro、ビデオ ストップ     | ビデオ録画を停止します。                          |
| GoPro、写真           | 写真を 1 枚撮影します。                         |
| GoPro、バースト         | 連写で写真を撮影します。                          |
| GoPro、タイム ラプス スタート | 最後に使用したタイム ラプス モードで撮影を開始します。          |
| GoPro、タイム ラプス ストップ | タイム ラプスの撮影を停止                         |
| GoPro、電源オン         | カメラの電源をオンにします (「音声起動」をオンしておく必要があります)。 |
| GoPro、電源オフ         | カメラの電源をオフにします。                        |

## 音声で GoPro を操作

---

### モード コマンドの使用

モード コマンドで、いつでも撮影モードを切り替えることができます。  
「GoPro 撮影」と言うか、シャッター ボタンを押して撮影します。

### モード コマンド

### 説明

|                   |  |
|-------------------|--|
| GoPro、ビデオ モード     | カメラをビデオ モードに切り替えます (録画は開始しません)                   |
| GoPro、写真モード       | カメラを写真モードに切り替えます (撮影は開始しません)。                    |
| GoPro、タイム ラプス モード | タイム ラプス フォト モードにカメラを切り替えます (タイム ラプス写真の撮影は開始しません) |



**プロからのヒント:** ビデオまたはタイム ラプスを録画中の場合は、新しいコマンドを試す前に録画を停止する必要があります。

## 音声で GoPro を操作

---

### 音声による GOPRO の電源オン

この設定では、GoPro の電源オフ時に電源が入り、音声コマンドに反応します。

1. 下にスワイプしてダッシュボードにアクセスします。
2.  をタップして、音声コントロールをオンにします。
3. 「ユーザー設定」 > 「音声コントロール」 > 「音声起動」 > 「オン」の順にタップします。
4. カメラの電源をオフにするには、「GoPro、電源オフ」と言うか、モードボタン  を長押しします。
5. 「GoPro 電源オン」と言うと、カメラの電源がオンになります。

注意: カメラは電源をオフにした後も、1時間コマンドを聞き取ります。

カメラのコマンドの完全なリストを参照する

1. 下にスワイプしてダッシュボードにアクセスします。
2. 「ユーザー設定」 > 「音声コントロール」 > 「コマンド」をタップします。

音声コントロールの言語を変更する

1. 下にスワイプしてダッシュボードにアクセスします。
2. 「ユーザー設定」 > 「音声コントロール」 > 「言語」をタップします。

注意: 音声コントロールは、風、ノイズ、カメラとの距離によって影響を受ける場合があります。最高のパフォーマンスを得るために、カメラをきれいに保ち、ごみを拭き取ります。

## メディアの再生

---

上にスワイプすると、最後に撮影したビデオ、写真、連写のいずれかが表示されます。左または右にスワイプすると、SD カードの他のすべてのファイルが表示できます。



メディア ギャラリーには、次の再生オプションが含まれています。

- || 再生を一時停止する
- ▶ 再生を再開する
- ☰ SD カードのすべてのメディアを表示する
- 🗑️ SD カードからファイルを削除する
- 🔄 スローモーション/標準速度で再生する
- 🎛️ スライダーを使用してビデオ、連写、タイム ラプス写真を閲覧する
- 🏷️ HiLight タグを追加/削除する

## メディアの再生

---

🔊 再生音量を調整する

◀ ▶ 連写または連続写真のグループで前後の写真に移動する

注意: 再生オプションは、表示しているメディアのタイプによって異なります。




**プロからのヒント:** 一部の再生オプションは、カメラを縦向きに持っている場合は使用できません。カメラを回転する前に、横向きでこれらの設定を調整します。

## メディアの再生



### ギャラリービューの使用



ギャラリービューを使用すると、SDカードに保存されているすべてのビデオと写真にすばやくアクセスできます。

1. 再生画面で  をタップします。
2. 上にスワイプしてメディアをスクロールします。
3. フルスクリーンビューで表示するにはビデオや写真をタップします。
4.  をタップしてファイルを選択します。
5. 再生画面に戻るには、 をタップします。

注意: ギャラリービューは、カメラを縦向きに持っている場合は使用できません。また、SDカードに保存されているコンテンツの数が多いほど読み込みに時間がかかります。

## メディアの再生

### 複数のファイルの削除

1.  をタップします。
2. 削除するすべてのファイルをタップします。ファイルを選択解除するには、ファイルをもう一度タップします。
3. 選択したファイルを削除するには、 をタップします。

### モバイルデバイスでビデオ + 写真を見る

1. カメラを GoPro アプリに接続します。詳細については、「[GoPro アプリへの接続 \(78 ページ\)](#)」をご参照ください。
2. アプリケーションのコントロールを使用して、ビデオと写真を再生、編集、共有します。

**プロからのヒント:** GoPro アプリを使用して、ビデオから静止写真を取り込んだり、長時間の撮影から短い共有可能なビデオを作成したり、スマートフォンにメディアを保存したりできます。

### コンピューターでビデオ + 写真を見る

コンピューターでメディアを表示するには、最初にファイルをコンピューターに保存する必要があります。詳細については、「[メディアの転送 \(80 ページ\)](#)」をご参照ください。

## その他のデバイスへの接続

---

### GOPRO アプリへの接続

GoPro アプリを使用して、HERO8 Black を制御し、外出先でビデオや写真を共有したり、効果や音楽を同期させたビデオ ストーリーに自動変換したりできます。

### 初回の接続

1. Apple の App Store または Google Play から GoPro アプリをダウンロードします。
2. 画面上の指示に従いカメラに接続します。

iOS に関する注意: プロンプトが表示されたら、GoPro アプリからの通知を許可して、ビデオが使用できるようになっていることを確認します。詳細については、「[ビデオ ストーリーの作成](#) (80 ページ)」をご参照ください。

### 2 回目以降の接続

- 1 回接続すれば、カメラの「接続」メニューから接続を開始できます。
1. カメラのワイヤレス接続がオンになっていない場合は、下にスワイプしてダッシュボードにアクセスします。
  2. 「ユーザー設定」 > 「接続」 > 「デバイスの接続」をタップします。
  3. GoPro アプリの画面の指示に従って接続します。

## その他のデバイスへの接続

---

### BLUETOOTH デバイスに接続する

GoPro を Bluetooth デバイスに接続して、映像に関するデータを取り込むことができます。データはあなたの冒険に関する統計データにより、ビデオの品質を向上させるのに役立ちます。

1. カメラを GoPro アプリに接続します。詳細については、「[GoPro アプリへの接続](#) (78 ページ)」をご参照ください。
2. アプリでカメラの設定を開き、「Bluetooth デバイス」をタップします。
3. 画の手順に従って操作します。

### 接続速度の設定

他のモバイル機器と接続する場合、GoPro は 5 GHz の Wi-Fi 帯域 (最高速) を使用するように設定されています。

デバイスまたは地域が 5 GHz をサポートしていない場合は、Wi-Fi 帯域を 2.4 GHz に変更します。

1. 下にスワイプしてダッシュボードにアクセスします。
2. 「ユーザー設定」 > 「接続」 > 「Wi-Fi 帯域」をタップします。



## メディアの転送

---

### ビデオ ストーリーの作成

スマートフォンにビデオや写真を自動的に送信するように、GoPro を設定できます。GoPro アプリでは、これらの設定を使用して、音楽や効果付きの完全編集されたビデオ ストーリーを作成します。

1. カメラを GoPro アプリに接続します。詳細については、「[GoPro アプリへの接続](#) (78 ページ)」をご参照ください。
2. アプリのホーム画面で下にスワイプします。直近のセッションからのショットがスマートフォンにコピーされ、完全編集されたビデオに変換されます。
3. ビデオをタップして表示します。
4. 必要な編集を行います。
5. ストーリーを保存するか、友人や家族、フォロワーと共有することができます。

### ベスト ショットを見つける

ベスト ショットには忘れずに HiLight タグをつけましょう。GoPro アプリは、ビデオを作成するときにタグを検索します。このため、お気に入りの場面がストーリーに含まれるようになります。

HERO8 Black でも、カメラに顔を向けたり、笑ったりする動作を検知します。これらのショットのデータに自動でタグ付けされるため、アプリでビデオに適したショットを選び出すことができます。

詳細については、「[HiLight タグの追加](#) (37 ページ)」をご参照ください。

## メディアの転送

---

### SD カードから転送する

ビデオや写真をコンピューターにコピーして再生や編集を行うことができます。


1. カメラから SD カードを取り外します。
2. カードを SD カード リーダーまたはアダプターに挿入します。
3. カード リーダーをコンピューターの USB ポートに接続するか、アダプターを SD カード スロットに挿入します。
4. ファイルをコンピューターにコピーします。

## メディアの転送

---

### クラウドへの自動アップロード

GoPro Plus サブスクリプションを使用すると、メディアをクラウドに自動的にアップロードし、任意のデバイスから表示、編集、共有できます。

- GoPro Plus への登録:
  - Apple の App Store または Google Play から GoPro アプリをデバイスにダウンロードします。
  - 画面上の指示に従いカメラに接続します。
  - 初めて接続している場合は、画面の指示に従って GoPro Plus に登録します。または、カメラ選択画面で  をタップします。
- カメラを電源に接続します。アップロードが自動的に開始されます。

一旦設定すると、自動アップロードを開始するためにカメラをアプリに接続する必要はありません。

注意: 元のファイルは、クラウドにバックアップされた後でも、カメラに残っています。

**プロからのヒント:** コンピューターにファイルを保存している場合、Quick (クイック) デスクトップ アプリが自動的にそれらのファイルを GoPro Plus アカウントにアップロードします。

## メディアの転送


---

### クラウドへの手動アップロード

カメラがフル充電されるのを待つことなく、メディアをクラウドに転送しませ (GoPro は電源コンセントに接続されている必要があります)。

- GoPro Plus に登録します。
- カメラを電源に接続します。
- 下にスワイプしてダッシュボードにアクセスします。
- 「ユーザー設定」 > 「手動アップロード」の順にタップします。

### クラウド メディアへのアクセス

- デバイスで GoPro アプリを開きます。
-  をタップし、「クラウド」を選択して、コンテンツの表示、編集、共有を行います。

**プロからのヒント:** ビデオ ストーリーは、クラウド メディアで作成します。GoPro アプリを開いて、**+** をタップし、「GoPro Plus」を選択します。

## メディアの転送

### 自動アップロードのオフ

カメラが電源コンセントに接続されるか、フル充電されるたびにアップロードを行うのを停止します。

1. 下にスワイプしてダッシュボードにアクセスします。
2. 「ユーザー設定」 > 「GoPro Plus」 > 「自動アップロード」をタップします。
3. 「オフ」をタップします。

### 別のワイヤレス ネットワークへの接続

1. 下にスワイプしてダッシュボードにアクセスします。
2. 「ユーザー設定」 > 「GoPro Plus」 > 「ネットワーク」をタップします。
3. ネットワークを選択します。ネットワークが非表示に設定されている場合や、エンドユーザー ライセンス契約が必要となる場合 (ホテルのネットワークなど) は利用できません。
4. 必要に応じてパスワードを入力します。
5.  をタップして、ネットワークを保存します。

### GOPRO PLUS ユーザー設定の変更

自動アップロードの設定の管理、ワイヤレス ネットワークの設定などを行います。

1. 下にスワイプしてダッシュボードにアクセスします。
2. 「ユーザー設定」 > 「GoPro Plus」をタップします。

注意: GoPro Plus は、サインアップ後にユーザー設定で利用可能になります。

## ユーザー設定

### ダッシュボードの使用

カメラが横向きの状態で、下にスワイプして、ダッシュボードやユーザー設定にアクセスします。



### ダッシュボードの機能

ダッシュボードでは、次の設定をタップしてオンとオフを簡単に切り替えることができます。










-  音声コントロール
-  カメラの電子音
-  QuikCapture
-  画面ロック
-  グリッド
-  方向ロック

## ユーザー設定



### 接続ステータス

接続状態を見るには、ダッシュボードの上部を確認します。

-  GPS がオンになっている (白)
-  GPS がオフになっている (グレー)
-  GPS が利用できない (グレー)
-  カメラが GoPro アプリに接続されている (白)
-  カメラが GoPro アプリとペアリングされていない (グレー)
-  カメラが GoPro アプリに接続されていない (グレー)
-  自動アップロードがオンで準備が完了している (白)
-  自動アップロードがオフになっている (グレー)
-  自動アップロードがオンになっているが、準備ができていない (グレー)

## ユーザー設定

### ユーザー設定の変更

「ユーザー設定」で、用途に合わせて GoPro を設定します。

### (?)

#### 接続

GoPro のすべてのワイヤレス接続を設定します。

#### ワイヤレス接続

カメラのワイヤレス接続のオンとオフを切り替えます。

#### デバイスの接続

選択して、GoPro アプリ、GoPro Smart Remote (スマート リモート)、または Bluetooth デバイスに接続します。詳細については、「[GoPro アプリへの接続](#) (78 ページ)」をご参照ください。

#### カメラ情報

カメラの名前とパスワードを表示します。

#### Wi-Fi 帯域

接続速度として 5 GHz または 2.4 GHz を選択します。スマートフォンおよび地域が対応している場合のみ、5 GHz を設定します。詳細については、「[接続速度の設定](#) (79 ページ)」をご参照ください。



#### 一般

「一般」設定には、次の設定があります。

#### 電子音のボリューム

高 (初期設定)、中、低、またはミュートを選択します。ここで設定したボリュームは、ダッシュボードでオンまたはオフに切り替えることができます。


## ユーザー設定

---

### QuikCapture

QuikCapture (クイックキャプチャ) は、初期設定でオンになっています。ここでオフにできます。ダッシュボードを使用して、オンまたはオフに切り替えることもできます。

### 初期設定プリセット

モード ボタン  を使って GoPro の電源を入れた場合に、GoPro 撮影のプリセットを設定します。この設定は、QuikCapture には影響しません。

### 電源の自動オフ

5 分、15 分 (初期設定)、30 分、または「なし」を選択します。

### LED

点滅させるステータス ライトを設定します。「すべてオン」(初期設定)、「すべてオフ」、「フロントのみオフ」から選択できます。

### アンチフリッカー

テレビで録画と再生をする際の地域のフレーム レートを選択します。北米の場合は、60 Hz (NTSC) に設定します。北米以外の場合は、50 Hz (PAL) をお試しください。地域に適した形式を選択すると、屋内で録画されたビデオを再生したときに TV/HDTV でのちらつきを防ぐことができます。

### ビデオ圧縮

ビデオのファイル形式を設定します。HEVC (ファイル サイズを削減) または H.264 + HEVC (H.264 により従来のデバイスとの互換性を最大化しながら、HEVC による高度な設定を使用) を選択します。

### 時刻と日付

時刻と日付を手動で調整するために使用します。カメラを GoPro アプリに接続すると、どちらも自動的に更新されます。

### 日付形式

セットアップ時に選択した言語に基づいて自動的に設定されます。手動で変更することもできます。

## ユーザー設定

---



### 音声コントロール

音声コントロール設定を選択して、使用できるすべてのコマンドを表示します。

### 音声コントロール

音声コントロールをオンまたはオフにします。ダッシュボードを使用して、オンまたはオフに切り替えることもできます。

### 音声起動

「GoPro 電源オン」と言うと、カメラのスリープが解除されます。

### 言語

音声コントロールの言語を選択します。

### コマンド

音声コマンドの完全なリストが表示されます。

詳細については、「[音声で GoPro を操作 \(70 ページ\)](#)」をご参照ください。

## ユーザー設定

---



### タッチ スクリーン

方向を調整したり、スクリーン セイバーを設定したり、明るさを調整したりします。

### 方向

カメラを回転させたときに、画面の天地が正しい向きに保たれます。

詳細については、「[画面の向きの設定](#) (38 ページ)」をご参照ください。

### スクリーン セイバー

カメラのスクリーン セイバーを 1、2、または 3 分に設定します。「なし」を選択すると、画面がオンのままになります。

注意: カメラのボタンと音声コントロールは、画面がオフになっていても作動します。

### 明るさ

スライダーを使用して、画面の明るさを調整します。



### 地域

GPS をオンにし、言語を選択して、GoPro のすべての法的情報を表示します。

### GPS

GPS をオンにして、ユーザーの動く速度や距離などを追跡します。GoPro アプリでパフォーマンス ステッカーを追加し、ユーザーの動く速度、距離、高さを表示します。詳細およびモバイル デバイスとの互換性については、[gopro.com/telemetry](https://gopro.com/telemetry) をご覧ください。

### 言語

カメラに表示する言語を選択します。

## ユーザー設定

---

### 規制

GoPro の認定書を表示します。



### 入出力

カメラの HDMI 出力方法を設定し、外付けマイクに適した設定を見つけます。

### HDMI 出力

GoPro メディア モジュラー (HERO8 Black) と HDMI ケーブル (どちらも別売) を使用して、GoPro を HDTV に接続し、「モニター」を選択してカメラのライブ ビューとカメラ情報を表示します。SD カードのメディアを再生するには、「メディア」を選択します。カメラ情報なしでカメラのライブ ビューを表示するには、「Live」を選択します。

### 音声入力

別売りの GoPro メディア モジュラー (HERO8 Black) または Pro 3.5 mm マイク アダプターにカメラを接続して、使用するマイクのタイプを選択します。

## ユーザー設定

---



### バージョン情報

GoPro を更新し、カメラの名前、シリアル番号、バッテリーの状態、およびソフトウェア バージョンを確認します。

### GoPro の更新

最新のソフトウェアでカメラを更新して、最新の機能とパフォーマンスのアップグレードを適用します。

### カメラ情報

カメラの名前、シリアル番号、およびカメラが使用しているソフトウェア バージョンを確認します。

### バッテリー情報

ここからバッテリーの状態を確認します。必ず GoPro 充電式バッテリー (HERO8 Black/HERO7 Black/HERO6 Black/HERO5 Black/HERO 2018) を使用してください。古い GoPro バッテリーや GoPro 以外のバッテリーを使用すると、カメラのパフォーマンスが大幅に制限される可能性があります。

## ユーザー設定

---



### リセット

SD カードをフォーマット、またはカメラの設定をリセットします。

### SD カードをフォーマット

SD カードを再フォーマットします。再フォーマットするとメディアがすべて消去されます。再フォーマット前に必ず保存してください。

### プリセットをリセット

あらかじめ組み込まれているプリセットをオリジナルの設定にリセットし、すべてのカスタム プリセットを削除します。

### カメラ ヒントのリセット

すべてのカメラのヒントを最初から表示します。

### 出荷時リセット

カメラの設定をすべて復元し、すべての接続をクリアします。

## 重要なメッセージ

---

問題が発生することはまれですが、問題が発生した場合は、HERO8 Black からユーザーに通知されます。表示されるメッセージの一部を次に示します。



### カメラの温度が高すぎます

カメラの温度が高くなり、冷却が必要になると、タッチ スクリーンに温度警告アイコンが表示されます。カメラはオーバーヒートのリスクがある状況を確認するように設計されており、必要に応じてシャットダウンされます。この場合は、カメラをそのまま放置し、冷却してから使用してください。

注意: HERO8 Black の動作周囲温度範囲は 10°C~35°C です。高温になると、カメラの電力消費量が増えて、バッテリーの消耗が速くなります。

**プロからのヒント:** 特に気温が高い環境では、高解像度や高フレームレートでビデオを撮影すると、カメラはより早く高温になります。低解像度および低フレーム レートに切り替えて、オーバーヒートのリスクを低減しましょう。

## 重要なメッセージ

---



### ファイルの復旧

HERO8 Black は、破損したファイルを自動的に修復しようとします。録画中にカメラの電源が切れた場合、またはファイルの保存中に問題が発生した場合に、ファイルが破損することがあります。修復中は、ファイル復旧アイコンがタッチ スクリーンに表示されます。処理が終了してファイルが修復されると、カメラから通知されます。

### SD カードがいっぱいです

SD カードがいっぱいになると、カメラから通知されます。録画を継続するには、一部のファイルを移動または削除する必要があります。

### バッテリー残量低、電源をオフにしています


バッテリーの残量が 10% を下回ると、タッチ スクリーンにバッテリー残量の低下を示すメッセージが表示されます。ビデオの録画中にバッテリーが切れた場合は、録画が停止しビデオが保存されてから、電源がオフになります。



## カメラのリセット

---

### GOPRO の再起動

カメラが応答していない場合は、モード ボタン  を 10 秒間押し続けます。これでカメラが再起動します。設定は変更されません。

### プリセットを初期設定に戻す

カメラの元のプリセット設定をすべて初期設定にリセットします。

1. 下にスワイプしてダッシュボードにアクセスします。
2. 「ユーザー設定」 > 「リセット」 > 「プリセットをリセット」をタップします。

注意: カメラの元のプリセット設定を初期設定に戻すと、カスタムプリセットが消去されます。

### 接続のリセット

デバイスの接続をクリアし、カメラのパスワードをリセットします。接続をリセットすると、お使いのすべてのデバイスで再接続が必要になります。

1. 下にスワイプしてダッシュボードにアクセスします。
2. 「ユーザー設定」 > 「接続」 > 「接続をリセット」をタップします。

### カメラのヒントのリセット

カメラのヒントをもう一度表示したい場合は、次の方法で最初からすべて見ることができます。

1. 下にスワイプしてダッシュボードにアクセスします。
2. 「ユーザー設定」 > 「リセット」 > 「カメラ ヒントのリセット」をタップします。

## カメラのリセット

---

### 工場出荷時の設定に戻す

カメラの元の設定をすべて復元し、すべてのデバイス接続をクリアし、GoPro Plus からカメラの登録を解除します。これは、人にカメラを譲る場合や、オリジナルの状態に完全に戻したい場合に便利です。

1. 下にスワイプしてダッシュボードにアクセスします。
2. 「ユーザー設定」 > 「リセット」 > 「出荷時リセット」をタップします。

注意: 出荷時の設定を復元しても、SD カードからコンテンツが削除されたり、カメラのソフトウェアに影響を与えたりすることはありません。

## GoPro のマウント方法



1



2



3

マウント用取付具

1. マウント用バックル
2. サム スクリュー

3. 粘着性ベース マウント (曲面)

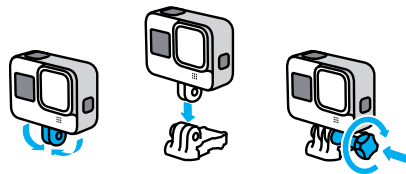
## GoPro のマウント方法

マウント フィンガーの使用

使用するマウントに応じて、マウント用バックルを使用するか、GoPro を直接マウント自体に取り付けます。

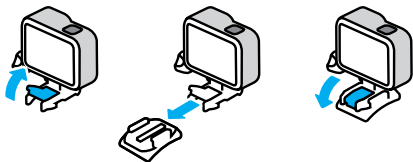
粘着性ベース マウントの使用に関するヒントについては、「[粘着性ベースマウントの使用 \(101 ページ\)](#)」をご参照ください。

1. マウント フィンガーをマウント位置に押し下げます。
2. カメラのマウント フィンガーを、バックルのマウント フィンガーと組み合わせます。
3. サム スクリューを使用して、カメラをマウント用バックルに固定します。



## GoPro のマウント方法

4. マウント用バックルをマウントに取り付けます。
  - a. マウント用バックル プラグをはね上げます。
  - b. カチッと音がして固定されるまでバックルをマウント側にスライドさせます。
  - c. プラグを押し込んでバックルと同じ高さになるようにします。



## GoPro のマウント方法

### 粘性ベース マウントの使用

ヘルメット、車両、およびギアに粘性ベース マウントを取り付けるときは、次のガイドラインに従ってください。

- ・ 使用する 24 時間以上前にマウントを取り付けます。
- ・ マウントは必ず滑らかな面に取り付けてください。凹凸やざらざらした表面には、きちんと貼り付きません。
- ・ マウントを押し、しっかりと取り付けます。接着剤が表面に完全に接触していることを確認します。
- ・ 必ず清潔で乾燥した面で使用してください。ワックスや脂分、汚れ、ホコリなどがあると、結合が弱まり、カメラを失くす可能性があります。
- ・ 湿度が低い、室温の環境でマウントを取り付けます。低温または湿度の高い環境や、低温または湿気のある表面には、適切に貼り付きません。
- ・ 機器 (狩猟用具) などにカメラを取り付けることが許可されているかどうか、国や地域/地方の法令、法律を確認してください。家電やカメラの使用を規定する法律に常に準拠してください。



**警告:** 思いがけない負傷を避けるために、カメラをヘルメットにマウントするには流れ止めコードを使用しないでください。スキーやスノーボードに直接カメラを取り付けしないでください。

マウントの詳細については、[gopro.com](https://gopro.com) をご参照ください。

## GoPro のマウント方法



警告: GoPro ヘルメット マウントまたはストラップを使用する場合は、常に該当する安全規格を満たしているヘルメットを使用してください。

実施するスポーツまたはアクティビティに適したヘルメットを選択し、ヘルメットが使用者に適したサイズでフィットしていることを必ず確認してください。ヘルメットが正常な状態であることを確認し、製造元の安全な使用に関する指示に必ず従ってください。

大きな衝撃を受けたヘルメットは交換してください。すべての事故で負傷を保護できるヘルメットはありません。安全を維持してください。

### 水中 + 水辺での GOPRO の使用

HERO8 Black は、ドアがロックされた状態であれば 10 m の防水性能を備えています。ダイビングの前に、別途ハウジングを取り付ける必要はありません。

タッチ スクリーンは、濡れていても使用できるよう設計されていますが、コマンドの認識に問題が生じた場合は水を拭き取る必要があります。水中でも、カメラのボタンで操作することができます。詳細については、「[ボタンでナビゲートする \(25 ページ\)](#)」をご参照ください。

**プロからのヒント:** 流れ止めコードと Floaty (フローティ) (別売) を使用して、カメラがマウントから外れても浮いているようにしてください。

水深 60 m の絶景を撮影する際は、別売りの保護ハウジング (HERO8 Black) を使用してください。

カメラの流れ止めコード、Floaty、および保護ハウジングの詳細については、[gopro.com](#) をご覧ください。

## ドアの取り外し

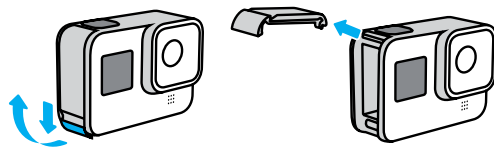
場合によっては、カメラのドアを取り外す必要があります。



警告: ドアは乾燥した、ほこりのない環境でのみ取り外します。ドアが開いていたり外されていたりする状態のカメラに防水性能はありません。

### ドアの取り外し

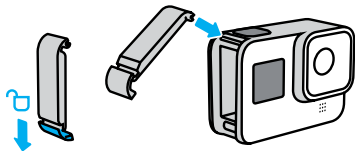
1. ラッチのロックを解除し、ドアを開けます。
2. カチッと音がするまでドアをゆっくりと押して、取り外します。



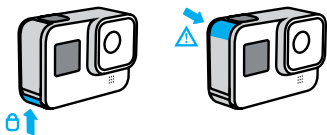
## ドアの取り外し

### ドアの取り付け

1. ドアを小さな銀色のバーに合わせます。
2. 所定の位置にはめ込まれ、しっかりと固定されるまで、ドアを小さな銀色のバーにしっかりと押し込みます。



警告: 確実に防水するために、ドアを閉めたらドア ラッチをチェックしてヒンジを押し、ロック、密閉されていることを確認してください。



## メンテナンス

カメラの性能を最大限に引き出すには、次のヒントを参考にしてください。

- ・ GoPro はハウジングなしで、水深 10 m までの防水性能を備えています。水や土、砂の中で使用する場合は、ドアを必ず閉じてください。
- ・ ドアを閉じる前に、シール部分にチリやゴミがついていないことを確認します。必要に応じて、布を使用してシールを洗浄します。
- ・ ドアを開ける前に、GoPro が清潔で乾燥していることを確認してください。必要であれば、カメラに真水をかけてすすぎ、布で完全に水分を拭き取ります。
- ・ ドアの周囲に砂や泥などがこびりついている場合は、ドアを開ける前にカメラをめぐる湯に 15 分ほど浸した後、よくすすいで砂や泥を取り除いてください。
- ・ 最高のオーディオ性能を引き出すためには、カメラを振るか、マイクの挿入口に息を吹きかけて、挿入口に入った水や泥を取り除きます。マイク穴から圧縮した空気を吹き込まないでください。内部の防水メンブレンを破損させる可能性があります。
- ・ 塩水が付着した場合は、その都度必ずカメラを水ですすぎ、柔らかい布で拭いてください。
- ・ レンズ カバーは、非常に丈夫な強化ガラスで作られていますが、それでも傷やひびができる場合があります。柔らかく、糸くずの出ない布で拭いてください。

## バッテリーの情報

バッテリー寿命を最大限に延ばす

次のような方法で、バッテリー寿命を最大限に延ばすことができます。

- ・ 低いフレームレートと解像度でビデオを録画する
- ・ スクリーンセーバーを使用して画面の明るさを下げる
- ・ GPS をオフにする
- ・ ワイヤレス接続をオフにする
- ・ 次の設定を使用します。
  - ・ [QuikCapture](#) (35 ページ)
  - ・ [電源の自動オフ](#) (88 ページ)

### 電源接続中の撮影

カメラに同梱されている USB-C ケーブルを使用して、カメラが USB 式の充電アダプター、GoPro Supercharger (スーパーチャージャー)、その他の GoPro 充電器、GoPro ポータブル パワー バックに接続されている間に、ビデオや写真を撮影できます。これは、長いビデオやタイムラプスイベントを撮影するのに最適です。

カメラが接続されていても、録画中にはバッテリーは充電されません。録画を停止すると、充電が開始されます。コンピューター経由でカメラを充電中に撮影することはできません。

注意: 充電中はドアが開いているため、カメラは防水ではなくなります。

## バッテリーの情報



警告: GoPro 以外の AC 充電器を使用すると、カメラのバッテリーが破損し、火災や液漏れが発生する恐れがあります。GoPro Supercharger (別売) 以外では、「出力 5V 1A」と記された充電器のみを使用してください。充電器の電圧と電流が不明の場合は、付属の USB ケーブルを使用して、カメラをコンピューターに接続して充電してください。

### バッテリーの保管 + 取り扱い

HERO8 Black には、バッテリーなどの精密部品が多く含まれています。本機を極端な低温や高温にさらさないでください。極端な温度の環境では、バッテリーの寿命が一時的に低下したり、カメラが一時的に正常に作動しなくなったりすることがあります。温度や湿度が急激に変化する環境でのご使用は、製品の内外に結露が発生する可能性があるため避けてください。

カメラを乾燥させる際に、電子レンジやヘアドライヤーなどの外部熱源を使用しないでください。カメラ内部での水や液体への接触によってカメラやバッテリーが破損した場合は、保証の対象となりませんのでご注意ください。

硬貨や鍵、ネックレスなどの金属と一緒にバッテリーを保管しないでください。バッテリーの接触子が金属に触れると、火災が発生する可能性があります。

許可されていない改造をカメラに加えしないでください。許可されていない改造を行うと、安全、法令に関するコンプライアンスに抵触したりパフォーマンスが損なわれたりするおそれがあるうえ、保証の対象外となる場合があります。

## バッテリーの情報

---

注意: 低温環境下では、バッテリー容量が低下します。古いバッテリーになるほどこの影響は大きくなります。定期的に低温下で撮影を行う場合は、最適なパフォーマンスを維持するため、1年に1回バッテリーを交換してください。

**プロからのヒント:** バッテリー寿命を最大限に延ばすために、収納する前にカメラをフル充電してください。



警告: カメラまたはバッテリーの投下、分解、開放、破砕、折り曲げ、変形、穿孔、裁断、電子レンジによる加熱、焼却、塗装などを行わないでください。USB-C ポートなど、カメラの開口部に異物を入れないでください。亀裂ができたり、穴が開いていたり、水没したりしたことが原因で破損したカメラは使用しないでください。バッテリーを分解したり、穴を開けたりすると、破裂や火災の原因になることがあります。

### バッテリーの廃棄

ほとんどの充電式リチウム イオン バッテリーは、無害廃棄物に分類され、自治体の通常の廃棄物として処理することができます。多くの地域の条例では、バッテリーをリサイクルするよう求められます。お住まいの地域の条例を調べ、通常のゴミと一緒に充電式バッテリーが廃棄できるかどうかご確認ください。リチウム イオン バッテリーを安全に廃棄するために、接触子が他の金属に触れないよう、梱包、マスキング、絶縁用テープなどで適切に処理し、輸送中に火災が発生しないようにしてください。

ただし、リチウム イオン バッテリーにはリサイクル可能な材料が含まれており、充電式バッテリー リサイクルリング コーポレーション (RBRC) のバッテリー リサイクルリング プログラムでもリサイクル受け入れ対象となっています。北米のお客様は Call2Recycle (call2recycle.org にアクセスするか、1-800-BATTERY に電話) に問い合わせ、最寄りのリサイクル場を確認することをお勧めします。

## バッテリーの情報

---

バッテリーは火に投げると爆発する恐れがあるため、火のあるところには絶対に捨てないでください。



警告: カメラのバッテリーには、GoPro 製の交換バッテリーのみを使用してください。

## トラブルシューティング

### GOPRO の電源が入らない

GoPro が充電されているか確認してください。「[充電](#) (10 ページ)」をご参照ください。バッテリーを充電しても解決しない場合は、カメラを再起動してみてください。「[GoPro の再起動](#) (96 ページ)」をご参照ください。

### ボタンを押しても GOPRO が応答しない

「[GoPro の再起動](#) (96 ページ)」をご参照ください。

### コンピューターで再生した映像が途切れる

コンピューターで再生時の映像が途切れるのは、通常の場合ファイルの問題ではありません。映像がスキップされる場合は、原因として次のいずれかが考えられます。

- ・ コンピューターが HEVC ファイルをサポートしていない。  
い。 [gopro.com/apps](https://gopro.com/apps) で、無料の Quik (クイック) デスクトップアプリの最新バージョンをダウンロードしてみてください。
- ・ お使いのコンピューターが、再生に使用しているソフトウェアの最小要件を満たしていない。

### カメラのユーザー名またはパスワードを忘れた場合

下にスワイプしてダッシュボードにアクセスし、「ユーザー設定」 > 「接続」 > 「カメラ情報」をタップします。

### ソフトウェアのバージョンが不明な場合

下にスワイプしてダッシュボードにアクセスし、「ユーザー設定」 > 「バージョン情報」 > 「カメラ情報」をタップします。

### カメラのシリアル番号が見つからない

シリアル番号は、カメラのバッテリー収納部の内側に刻印されています。また、下にスワイプしてダッシュボードにアクセスし、「ユーザー設定」 > 「バージョン情報」 > 「カメラ情報」をタップして確認することもできます。

よくある質問の他の回答については、[gopro.com/help](https://gopro.com/help) をご参照ください。

## 仕様: ビデオ

### ビデオの解像度 (RES)

ビデオの解像度は、ビデオの各フレーム内の水平ラインの数を指します。1080p ビデオには 1080 本の水平ラインがあり、それぞれのラインの幅は 1920 ピクセルです。4K ビデオには 3840 本の水平ラインがあり、それぞれのラインの幅は 2160 ピクセルです。ラインが多いほど解像度が高くなるので、4K は 1080p 以上の鮮明な画像を提供することができます。

| ビデオの解像度  | 説明   |
|----------|--|
| 4K       | 最高の解像度のビデオ。三脚や固定位置での撮影に最適です。8 MP の静止画をビデオから取得することができます。                  |
| 4K 4:3   | 最高の解像度のビデオ。縦長のアスペクト比 4:3 は 16:9 のショットより広いシーンを撮影することができます。POV 映像の撮影に最適です。 |
| 2.7K     | 16:9 の高解像度のビデオ。プロ仕様の制作用として迫力ある映画品質の映像を実現します。                             |
| 2.7K 4:3 | ボディやギアに搭載された主観的な高解像度のショットを、滑らかなスローモーションで再生するのに最適です。                      |



## 仕様: ビデオ

---

| ビデオの解像度 | 説明  |
|---------|---|
| 1440p   | 縦長のアスペクト比 4:3 は、1080p 以上のフレームに適合します。速い動きや主観的な撮影、ソーシャル メディアへの共有に最適です。                                    |
| 1080p   | あらゆるショットやソーシャル メディア サイトでの共有に最適な標準的な HDTV 解像度。240 fps といった高 fps および 120 fps オプションにより、超スローモーションへの編集が可能です。 |

## 仕様: ビデオ

---

この表では、各解像度のフレーム サイズを比較しています。



**プロからのヒント:** 特に高解像度、高フレーム レートを使用している場合、選択された設定をお手持ちのスマートフォン、コンピューター、テレビがサポートしているかどうかご確認ください。

## 仕様: ビデオ

---

### フレーム/秒 (FPS)

フレーム/秒とは、ビデオで 1 秒あたりに撮影されるフレーム数を表します。高い fps 値 (60、120 または 240) は、速い動きを撮影するのに適しています。また、高 fps の映像はスローモーション再生に使用することもできます。

### 解像度 + FPS

ビデオの解像度は高いほど、より細部までくっきりとした映像を撮影できますが、利用できる fps 値は一般的に低くなります。

ビデオ解像度を低くすると、映像は鮮明ではなくなりますが、高い fps 値で撮影できます。

解像度 | FPS 画面で解像度を選択すると、選択した解像度で使用できるすべてのフレーム レートが白で表示されます。使用できないフレーム レートはグレーで表示されます。

## 仕様: ビデオ

---

### アスペクト比

アスペクト比は、画像の幅と高さを表します。HERO8 Black は、2 つのアスペクト比でビデオと写真を撮影します。

### 4:3

縦長の 4:3 形式では、16:9 のワイドスクリーン形式よりも多くを画面に収めることができます。自撮りや主観的な映像を撮影するのに適しています。解像度 4:3 が、解像度 | FPS 画面の最上行に表示されます。

### 16:9

HDTV や編集プログラム用の標準的な形式です。ワイドスクリーン形式は、映画のような印象的な映像を撮影するのに最適です。解像度 16:9 が、解像度 | FPS 画面の解像度 4:3 の下に表示されます。

注意: HDTV で 4:3 の映像を再生すると、画面の両側に黒いバーが表示されます。

## 仕様: ビデオ

### デジタル レンズ (ビデオ)

デジタル レンズによって、カメラが捉えるシーンの広さが異なります。レンズの種類は、ショットのズーム レベルや魚眼効果にも影響します。ビデオモードでは、最大の視野で撮影できるのが SuperView (スーパービュー) で、視野が最も狭くなるのが狭角です。

| デジタル レンズ             | 説明                                |
|----------------------|-----------------------------------|
| SuperView<br>(16 mm) | 横幅と縦幅が最も広い視野角で、16:9 ビデオとして表示されます。 |
| 広角<br>(16~34 mm)     | フレーム内にできるだけ広い範囲を収める広い視野角。         |
| リニア<br>(19~39 mm)    | SuperView や広角での魚眼効果のない広い視野角。      |
| 狭角<br>(27 mm)        | SuperView や広角での魚眼効果のない狭い視野角。      |

注意: 選択した解像度およびフレーム レートと互換性があるレンズのみが、使用可能です。

## 仕様: ビデオ

### HERO8 BLACK のビデオ設定

カメラのビデオ解像度と、それぞれで使用可能な fps、レンズ、アスペクト比の概要を示します。

| ビデオ解像度 (RES) | FPS (60Hz/50Hz)*        | デジタルレンズ             | 画面解像度     | アスペクト比 |
|--------------|-------------------------|---------------------|-----------|--------|
| 4K           | 60/50                   | 広角、リニア              | 3840x2160 | 16:9   |
| 4K           | 30/25<br>24/24          | SuperView、広角、リニア    | 3840x2160 | 16:9   |
| 4K 4:3       | 30/25<br>24/24          | 広角、リニア              | 4096x3072 | 4:3    |
| 2.7K         | 120/100                 | 広角                  | 2704x1520 | 16:9   |
| 2.7K         | 60/50<br>30/25<br>24/24 | SuperView、広角、リニア、狭角 | 2704x1520 | 16:9   |
| 2.7K 4:3     | 60/50                   | 広角                  | 2704x2028 | 4:3    |
| 2.7K 4:3     | 30/25<br>24/24          | 広角、リニア、狭角           | 2704x2028 | 4:3    |

## 仕様: ビデオ

| ビデオ解像度 (RES) | FPS (60Hz/50Hz)*                   | デジタルレンズ             | 画面解像度     | アスペクト比 |
|--------------|------------------------------------|---------------------|-----------|--------|
| 1440p        | 120/100                            | 広角                  | 1920x1440 | 4:3    |
| 1440p        | 60/50<br>30/25<br>24/24            | 広角、リニア、狭角           | 1920x1440 | 4:3    |
| 1080p        | 240/200                            | 広角                  | 1920x1080 | 16:9   |
| 1080p        | 120/100<br>60/50<br>30/25<br>24/24 | SuperView、広角、リニア、狭角 | 1920x1080 | 16:9   |

\*60Hz (NTSC) と 50Hz (PAL) はビデオの形式で、お住いの地域により使用されているものが異なります。詳細については、「[アンチフリッカー](#) (88 ページ)」をご参照ください。

使用する設定についてのヒントは、「[推奨設定](#) (30 ページ)」をご参照ください。

## 仕様: ビデオ



### 高解像度/高フレーム レート

屋外の気温が高い環境で高解像度または高 fps のビデオを撮影すると、カメラが高温になり消費電力が増える原因となります。

空気の流れがないところで GoPro アプリに接続すると、カメラがさらに高温になり、より多くの電力を使用するため、録画時間が短縮されてしまいます。

加熱による問題が発生した場合は、録画するビデオを短くしてみてください。また、GoPro アプリのように、多くの電力を消費する機能の利用を控えてください。GoPro Smart Remote (スマート リモート) (別売) は、低消費電力で GoPro を制御できます。

シャットダウンして冷却する必要がある場合、カメラから通知されます。詳細については、「[重要なメッセージ](#) (94 ページ)」をご参照ください。

## 仕様: ビデオ

---

### HYPERSMOOTH 2.0 ビデオ安定化機能

HyperSmooth 2.0 (ハイパースムーズ 2.0) は、カメラの揺れを修正することで、非常に滑らかなプロ仕様の映像を実現します。録画中にビデオをクロップして映像をバッファーすることで、衝撃や手ブレを防ぎます。サイクリング、スケート、スキー、手持ち撮影などに最適です。HERO8 Black には、次の 4 つの HyperSmooth 設定があります。

| 設定   | 説明   |
|------|--|
| ブースト | 画像をしっかりとクロップした、最大限のビデオ安定化。                     |
| 高    | 最小限のクロップによる、より強力なビデオ安定化 (広角レンズは 10% クロップされます)。 |
| オン   | 最小限のクロップによるビデオ安定化 (広角レンズは 10% クロップされます)。       |
| オフ   | ビデオ安定化またはクロップを行わずに録画します。                       |

注意: HyperSmooth は、4K60 ビデオをリニア デジタル レンズで録画する場合には使用できません。この場合は、標準的なビデオ安定化機能を使用します。

**プロからのヒント:** 録画開始前にタッチ ズームを使用してショットをクロップすることで、より一層映像を滑らかにすることができます。これにより、カメラはビデオを安定化する際に、より大きなバッファーを使用できるようにもなります。

## 仕様: ビデオ

---

### 自動光量調整

HERO8 Black では、撮影時に十分な光量がない場合に通知し、自動的にフレーム レートを下げてビデオの画質を向上させることができます。これは特に、低光量の場所を出入りしているときに役立ちます。

自動光量調整は初期設定では「オン」に設定されています。50 FPS または 60 FPS での撮影時は、どの解像度でも機能します。

### 自動光量調整をオフにする

1. 「ビデオ」画面で、「設定」をタップします。
2. 「低光」をタップします。

### ループの間隔

GoPro を 5 分 (初期設定)、20 分、60 分、120 分のループ録画をするよう設定できます。また、「最大」と設定することも可能です。この場合、カメラは SD カードがいっぱいになるまで録画し、その後ループバックしてビデオの先頭から重ね撮りします。

## 仕様: 写真

---

### スーパーフォト

スーパーフォトはシーンを自動的に分析し、ショットに最適な画像処理をインテリジェントに適用します。

光量やショットの中の動きなどの条件に応じて、スーパーフォトが次の4つのオプションからいずれかを選択します。

### ハイ ダイナミック レンジ (HDR)

改良された HDR では、複数の写真を1つのショットに結合し、明るい光と影が混在したシーンのディテールを引き出します。

### ローカル トーン マッピング

必要なところだけディテールを引き出し、コントラストを最適化することで、写真の品質を向上させます。

### マルチ フレーム ノイズ低減

複数のショットを1枚の写真に自動的に結合して、デジタルの歪み(ノイズ)を低減します。

### 追加処理なし

条件に問題がない場合は高度な処理を適用せずに写真を撮影します。

スーパーフォトは、1枚ずつ写真を撮影する場合にのみ機能します。画像処理の適用のために時間が必要となり、各ショットを処理して保存するのに少し長く時間がかかる場合があります。

注意: スーパーフォトは、RAW 写真や Protune、露出コントロール設定下では機能しません。

## 仕様: 写真

---

### スーパーフォトをオンにする

スーパーフォトは初期設定ではオフになっています。オンにする方法は以下の通りです。

1. 写真設定画面で、「出力」をタップします。
2. 「スーパーフォト」を選択します。

### HDR

ハイ ダイナミック レンジ (HDR) は、スーパーフォトが写真の質を向上させるために用いる画像処理技術の1つです。複数のショットをシングル フォトに結合して、かつてないほどの素晴らしいショットが実現します。写真を撮影するときに必ず HDR を使用するには、この設定を選択します。

1. 写真設定で、「出力」をタップします。
2. 「HDR」を選択します。

HDR オンは、1枚ずつ写真を撮影する場合にのみ使用できます。最良の結果を得るには、高コントラストのショットで動きを最小限にして使用します。

注意: HDR は、RAW 写真や露出コントロールでは機能しません。

## 仕様: 写真

シャッター速度 (夜間 + ナイト ラプス フォト)

シャッター速度により、夜間モードやナイト ラプス フォト モードでカメラのシャッターが開いている時間が決まります。 オプションと使用時のヒント

| 速度              | 例                                      |
|-----------------|--|
| 自動<br>(最大 30 秒) | 日出、日没、夜明け、夕暮れ、薄暮、夜間                    |
| 2、5、10、15 秒     | 夜明け、夕暮れ、薄暮、夜間の自動車の往来、観覧車、花火、ライトペインティング |
| 20 秒            | 夜間の空 (光源あり)                            |
| 30 秒            | 夜間の星、天の川 (完全な暗闇)                       |

**プロからのヒント:** 夜間とナイト ラプス フォトの使用時に手ブレを防ぐには、カメラを三脚に取り付けたり、安定した面に置いて、ぶれたり揺れたりしないようにします。

連写レート

次の高速設定のいずれかを使用して、素早いアクション シーンを撮影します。

- ・ 自動 (照明条件に基づいて 1 秒間に最大 30 枚)
- ・ 6、10 秒に 60 枚
- ・ 1、3、6、10 秒に 30 枚
- ・ 1、3 秒に 10 枚
- ・ 1 秒間に 5 枚
- ・ 1 秒間に 3 枚

## 仕様: 写真

デジタル レンズ (写真)

デジタル レンズによって、カメラが捉えるシーンの広さが異なります。レンズは、ショットのズーム レベルや魚眼効果にも影響します。写真には、次の 3 つのレンズ オプションがあります。

| デジタル レンズ          | 説明                           |
|-------------------|------------------------------|
| 広角<br>(16~34 mm)  | フレーム内にできるだけ広い範囲を収める広い視野角。    |
| リニア<br>(19~39 mm) | SuperView や広角での魚眼効果のない広い視野角。 |
| 狭角<br>(27 mm)     | SuperView や広角での魚眼効果のない狭い視野角。 |

## 仕様: 写真

### RAW 形式

この設定がオンになっている場合、写真はすべて .jpg 画像 (カメラで表示する場合や GoPro アプリで共有する場合) および .gpr ファイルで保存されます。 .gpr ファイルは、Adobe.dng 形式に基づいています。これらのファイルは、Adobe Camera Raw (ACR)、バージョン 9.7 以降で使用できます。また、Adobe Photoshop Lightroom CC (2015.7 リリース以降) および Adobe Photoshop Lightroom 6 (バージョン 6.7 以降) も使用できます。

写真モードでは、次の場合を除き RAW 形式を写真、連写、夜間、タイムラプス フォトおよびナイト ラプス フォトで使用できます。

- ・ スーパーフォトがオフになっている必要があります。
- ・ デジタル レンズを「広角」に設定する必要があります。
- ・ ズームをオフにする必要があります。
- ・ RAW 形式は連続写真の撮影時には使用できません。
- ・ タイム ラプス フォトでは、間隔は 5 秒以上にする必要があります。
- ・ ナイト ラプス フォトでは、シャッター設定は 5 秒以上にする必要があります。

**プロからのヒント:** .gpr 形式の写真は、.jpg ファイルと同じファイル名で、同じ場所に保存されます。ファイルにアクセスするには、カードリーダーに SD カードを挿入し、コンピューターのファイル エクスプローラーでファイルを見つけます。

## 仕様: タイム ラプス

### TIMEWARP 2.0 ビデオの速度

TimeWarp (タイムワープ) ビデオの速度を最大 30 倍速にすれば、長時間のアクティビティを共有することができます。初期設定は、速度が自動的に設定される「自動」になっています。

自分で速度を設定することも可能です。この表を使って、ビデオの長さを予測してください。たとえば、2 倍速で 1 分間録画すると、約 30 秒の TimeWarp ビデオが作成されます。2 倍速で 4 分間録画すると、約 2 分間の TimeWarp ビデオが作成されます。

| 速度  | 録画時間 | ビデオの長さ |
|-----|------|--------|
| 2x  | 1 分  | 30 秒   |
| 5x  | 1 分  | 10 秒   |
| 10x | 5 分  | 30 秒   |
| 15x | 5 分  | 20 秒   |
| 30x | 5 分  | 10 秒   |

**注意:** 録画時間はおおよその時間です。ビデオの長さはショット内に含まれる動きによって異なる場合があります。

| 速度      | 例              |
|---------|----------------|
| 2x~5x   | 景色のよい道路での運転    |
| 10x     | ハイキングや探検       |
| 15x~30x | ランニングやマウンテンバイク |

**プロからのヒント:** 最高の結果を得るため、がたがたと揺れる可能性のある映像を撮影する場合は、速度を「自動」設定のままにしてください。



## 仕様: タイム ラプス

---

ビデオの解像度 (TIMEWARP、タイム ラプス ビデオ)

HERO8 Black は、TimeWarp (タイムワープ) とタイム ラプス ビデオを 4 種類の解像度で撮影します。次のオプションがあります。

| 解像度   | アスペクト比 |
|-------|--------|
| 4K    | 16:9   |
| 2.7K  | 4:3    |
| 1440p | 4:3    |
| 1080p | 16:9   |

詳細については、以下をご参照ください。

- ・ [ビデオの解像度 \(RES\)](#) (111 ページ)
- ・ [アスペクト比](#) (115 ページ)

## 仕様: タイム ラプス

---

タイム ラプスの間隔

間隔の設定により、カメラがタイム ラプス ビデオやタイム ラプス フォトモードの場合に、写真を撮影する頻度が決定します。

使用可能な間隔は、0.5 秒 (初期設定)、1 秒、2 秒、5 秒、10 秒、30 秒、および 1 分、2 分、5 分、30 分、1 時間です。

| 間隔        | 例                           |
|-----------|-----------------------------|
| 0.5 秒~2 秒 | サーフィン、自転車、他のスポーツ            |
| 2 秒       | 往来の激しい街かど                   |
| 5 秒~10 秒  | 雲や屋外風景の長時間撮影                |
| 10 秒~1 分  | アート プロジェクトやその他の長時間を要する活動    |
| 1 分~1 時間  | 非常に長い期間にわたって行われる建設作業やその他の活動 |

## 仕様: タイム ラプス

### タイム ラプス ビデオの録画時間

この表を使用して、録画するビデオの長さを決定してください。たとえば、0.5 秒間隔で 5 分間録画すると、20 秒のタイム ラプス ビデオが作成されます。15 分間録画すると、1 分間のビデオが作成されます。

| 間隔    | 録画時間  | ビデオの長さ |
|-------|-------|--------|
| 0.5 秒 | 5 分   | 20 秒   |
| 1 秒   | 5 分   | 10 秒   |
| 2 秒   | 10 分  | 10 秒   |
| 5 秒   | 1 時間  | 20 秒   |
| 10 秒  | 1 時間  | 10 秒   |
| 30 秒  | 5 時間  | 20 秒   |
| 1 分   | 5 時間  | 10 秒   |
| 2 分   | 5 時間  | 5 秒    |
| 5 分   | 10 時間 | 4 秒    |
| 30 分  | 1 週間  | 10 秒   |
| 1 時間  | 1 週間  | 5 秒    |

**プロからのヒント:** 最良の結果を得るために、カメラを三脚に取り付けたり、安定した面に置いて、ぶれたり揺れたりしないようにします。TimeWarp ビデオを使用すると、動いているときにタイム ラプス ビデオを撮影できます。

## 仕様: タイム ラプス

### ナイト ラプスの間隔

ナイト ラプス モードで GoPro がシャッターを切る頻度を選択します。ナイト ラプスの間隔は、自動、4 秒、5 秒、10 秒、15 秒、20 秒、30 秒、および 1 分、2 分、5 分、30 分、60 分です。

「自動」(初期設定) を選択すると、シャッター設定の間隔と同期されます。シャッター速度が 10 秒に設定されていて、間隔が「自動」の場合は、カメラは 10 秒ごとにシャッターを切ります。


| 間隔        | 例   |
|-----------|---|
| 自動        | すべての露出に最適 (シャッターの設定に応じて、できるだけ素早くシャッターを切ります)       |
| 4 秒~5 秒   | 夕刻の街の風景、街の照明、動きのある場面                              |
| 10 秒~15 秒 | 明るい月夜の雲の動きなど、ゆったりとシーンが移り変わる薄暗い環境での撮影              |
| 20 秒~30 秒 | 最小限の環境光量や街灯の下で見上げる星空のように、極めて低光量または極めて動きの少ないシーンの撮影 |

## 仕様: Protune

Protune は、色、ホワイト バランス、シャッター速度などの詳細設定を手動でコントロールすることにより、カメラが持つ潜在的な創造力をすべて引き出します。プロ仕様の色補正ツールや Quik (クイック) デスクトップ アプリなどの編集用ソフトウェアと互換性があります。

いくつかのポイントをご紹介します。

- ・ Protune は、ループおよび LiveBurst (ライブバースト) 以外の全モードで利用できます。
- ・ 露出コントロールを使用する場合、一部の Protune の設定は使用できません。
- ・ プリセット内の Protune 設定で行った変更は、そのプリセットにのみ適用されます。たとえば、タイム ラプスのホワイト バランスを変更しても、連写のホワイト バランスに影響を与えることはありません。

**プロからのヒント:** 設定メニュー  をタップして、すべての Protune 設定を初期設定の状態に復元することができます。

### ビット レート

ビット レートにより、ビデオを 1 秒間録画するのに使用されるデータ量が決まります。HERO8 Black では、「高」または「低」を選択できます。

| ビット レート  | 説明  |
|----------|---|
| 低 (初期設定) | 低いビット レートを使用してファイル サイズを最小化します。                            |
| 高        | 最適な画質を得るため、最大 100 Mbps (4K および 2.7K ビデオ) の高ビット レートを使用します。 |

## 仕様: Protune

### カラー

カラーを使用することで、ビデオや写真のカラー プロファイルを調整できます。オプションをスクロールしてそれぞれの設定のライブ プレビューを確認してから、必要なオプションをタップします。

| カラー設定            | 説明  |
|------------------|---|
| GoPro カラー (初期設定) | 従来の GoPro 色修正プロファイルで写真やビデオを撮影します。   |
| フラット             | 「フラット」はニュートラルなカラー プロファイルで、他の機材で撮影された映像と統合しやすくように色補正できるので、ポストプロダクションの幅が広がります。トーンカーブが長いため、「フラット」では影とハイライトのディテールがより捉えられます。 |

### ホワイト バランス

ホワイト バランスを使用するとビデオや写真の色温度を調整し、寒色と暖色のバランスを最適化できます。オプションをスクロールしてそれぞれの設定のライブ プレビューを確認してから、必要なオプションをタップします。

この設定のオプションは、自動 (初期設定)、2300K、2800K、3200K、4000K、4500K、5000K、5500K、6000K、6500K、ネイティブです。値を小さくすると、暖色が強くなります。

また、「自動」を選択してホワイト バランスを GoPro に設定させるか、「ネイティブ」を選択して最小限に色補正したファイルを作成し、ポスト プロダクション時により正確な調整を行うこともできます。

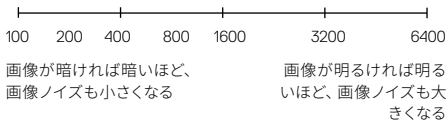
## 仕様: Protune

### ISO 最小/最大

ISO 最小と ISO 最大を使用すると、光と画像ノイズに対するカメラの感度の範囲を設定できます。画像ノイズとは、画像上の粒度を意味します。

低光量時は、ISO 値が高いほどより明るい映像を得られますが、画像ノイズが高くなります。値が低いほど、画像が暗くなり、イメージ ノイズが低くなります。オプションをスクロールしてそれぞれの設定のライブプレビューを確認してから、必要なオプションをタップします。

「ISO 最大」の初期設定値は、ビデオの場合は 1600 で、写真の場合は 3200 です。「ISO 最小」の初期設定値は 100 です。



注意: ビデオおよび写真モードでは、ISO の動作は Protune のシャッター設定に応じて異なります。選択した「ISO 最大」は、ISO の最大値として使用されます。適用される ISO 値は、照明条件に応じて、より低くなることがあります。

**プロからのヒント:** 特定の値に ISO をロックするには、「ISO 最小」と「ISO 最大」を同じ値に設定します。

## 仕様: Protune

### シャッター

Protune のシャッター設定は、ビデオ モード、写真モード、LiveBurst (ライブバースト) モードにのみ適用されます。この設定によりシャッターが開いている時間が決まります。オプションをスクロールしてそれぞれの設定のライブプレビューを確認してから、必要なオプションをタップします。初期設定は「自動」です。

写真の場合、オプションは自動、1/125、1/250、1/500、1/1000、1/2000 秒です。

ビデオの場合、オプションは次に説明されているように、fps の設定によって異なります。

| シャッター      | 例 1:<br>1080p30 | 例 2:<br>1080p60 |
|------------|-----------------|-----------------|
| 自動         | 自動              | 自動              |
| 1/fps      | 1/30 秒          | 1/60 秒          |
| 1/(2xfps)  | 1/60 秒          | 1/120 秒         |
| 1/(4xfps)  | 1/120 秒         | 1/240 秒         |
| 1/(8xfps)  | 1/240 秒         | 1/480 秒         |
| 1/(16xfps) | 1/480 秒         | 1/960 秒         |

**プロからのヒント:** ビデオや写真の手ブレを減らすために、シャッター設定の使用中は、カメラを三脚または安定した場所に固定して、ぶれたり揺れたりしないようにしてください。

## 仕様: Protune

---

### 露出値の補正 (EV 修正)

露出値を補正すると、写真とビデオの明るさに影響します。この設定を調整することで、コントラストの強い照明状況下での撮影時に画像品質が改善されます。

この設定のオプションは、-2.0~+2.0 です。初期設定は 0 です。

EV 修正画面の右側のオプションをスクロールして、それぞれの設定のライブプレビューを確認してから、必要なオプションをタップします。値が高いほど、画像が明るくなります。

注意: ビデオでは、この設定は、「シャッター」が「自動」に設定されている場合にのみ利用できます。

また、シーンの特定の領域に基づいて露出を調整することもできます。詳細については、「[露出コントロール](#) (66 ページ)」をご参照ください。

---

**プロからのヒント:** 露出値の補正は、既存の ISO 設定内で、明るさを調整します。低光量下で、明るさが ISO 設定に達している場合は、露出値補正を上げても、効果はありません。明るさを高めるには、より高い ISO 値を選択します。

## 仕様: Protune

---

### シャープネス

シャープネスは、ビデオ映像や写真で撮影したディテールの質をコントロールします。この設定のオプションは、高 (初期設定)、中、および低です。

オプションをスクロールしてそれぞれの設定のライブプレビューを確認してから、必要なオプションをタップします。

---

**プロからのヒント:** 編集中にシャープネスを上げる予定にしている場合、この設定で「低」を選択してください。

## 仕様: Protune

### RAW オーディオ

標準の .mp4 オーディオトラックに加えて、ビデオ用の .wav ファイルを作成します。RAW オーディオトラックに適用する処理のレベルを選択できます。

| RAW 設定    | 説明  |
|-----------|---|
| オフ (初期設定) | 個別の .wav ファイルは作成されません。  |
| 低         | 最小限の処理を適用します。ポスト プロダクションでオーディオ処理を適用する場合に最適です。                         |
| 中         | ウィンド低減設定に基づいて中程度の処理を適用します。独自のゲインを適用する場合に最適です。                         |
| 高         | フル オーディオ処理 (自動ゲインおよびウィンド低減) を適用します。処理したオーディオを AAC エンコーディングしない場合に最適です。 |

SD カードをカードリーダーに挿入して、コンピューターの .wav ファイルにアクセスします。 .mp4 ファイルと同じ名前で、同じ場所に保存されます。

## 仕様: Protune

### ウィンド低減

HERO8 Black は、3つのマイクを使って、ビデオの録画中に音声を録音します。撮影時の条件や、完成したビデオに使用したいサウンドの種類に基づいて、使用方法をカスタマイズすることができます。

| 設定        | 説明  |
|-----------|---|
| 自動 (初期設定) | 風や水による過度なノイズを自動的に除去します。                         |
| オン        | 過度なウィンドノイズを除去したり、GoPro を移動中の乗り物に搭載している場合に使用します。 |
| オフ        | 風の音が音質に影響を与えることがなく、GoPro で確実にステレオ録音したい場合に使用します。 |

## カスタマー サポート

---

GoPro はベスト サービスに万全を期しております。GoPro カスタマー サポート チームへのお問い合わせについては、[gopro.com/help](https://gopro.com/help) をご参照ください。

## 登録商標

---

GoPro、HERO およびそれぞれのロゴは、米国およびその他諸国における GoPro, Inc. の商標または登録商標です。© 2019 GoPro, Inc. All rights reserved. 特許に関する情報については、[gopro.com/patents](https://gopro.com/patents) をご参照ください。GoPro, Inc., 3000 Clearview Way, San Mateo CA 94402 | GoPro GmbH, Floessergasse 2, 81369 Munich, Germany

## 規制情報

---

国別の認定書の詳細なリストをご覧いただくには、カメラに付属の「Important Product + Safety Instructions (重要な製品 + 安全情報)」を参照するか、[gopro.com/help](https://gopro.com/help) をご利用ください。

